

刊行物一覧

展覧会図録・文庫目録・機関紙・年報等の刊行

刊行物一覧目次

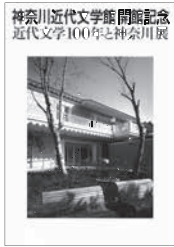
| | |
|---------------------------|-------|
| 1. 展覧会図録(共催を含む)…………… | p.218 |
| 2. 目録(文庫目録等)…………… | p.234 |
| 3. 研究誌等…………… | p.235 |
| 4. 作品・複製・創作集…………… | p.236 |
| 5. 館報(機関紙「神奈川近代文学館」)…………… | p.236 |
| 6. 神奈川近代文学館年報…………… | p.249 |
| 7. 記念誌(開館・周年)…………… | p.250 |
| 8. 展覧会リーフレット…………… | p.251 |

凡 例

1. 刊行物及び内容一覧の製作にあたっては、当館及び当財団の製作、または製作協力した刊行物を中心に採録した。
2. 排列は種別ごとに発行年順とした。
3. 刊行物書誌の記述事項は、書名、著編者、発行者、発行年月日、頁数、判型、頒価、内容とし、必要に応じて注記を加えた。
4. 記述にあたっては、本体にある記載事項に拠ったが、一部、他の記録を参照した。
5. 内容は目次の記載を基本とし、必要に応じて省略及び修正を加えた。

図録

神奈川近代文学館開館記念
近代文学 100 年と神奈川展
財団法人神奈川文学振興会
1984.10.13 188p B5 判
頒価 1,900 円
表紙写真・今村守利



開館記念展にあたって (小田切進) 3
口絵 (カラー図版) 7
19 世紀から 20 世紀へ (前田愛) 15
ヨコハマー文明の港 16
北村透谷と民権運動 30
石坂公歴のこと (色川大吉) 36
森鷗外、逍遙・二葉亭 38
風景の発見 40
國木田独歩の愛の手紙 (福田清人) 49
日清戦後の文学 52
近代文学の成熟と展開 (紅野敏郎) 55
20 世紀の幕あけ 56
日露戦後の文学 68
大正デモクラシーの時代 83
大正期の詩歌 100
大人子供 (山本太郎) 102
児童文学の開花 107
現代の表現を求めて (磯田光一) 109
震災と復興一谷崎・芥川を中心に 110
都市化時代の文学 116
昭和詩の展開 123
不安の一九三〇年代 128
尾崎さんの文章修行 (中野孝次) 130
戦争の足音 136
高齢作家の活動 140
昭和の評論 142
戦中・敗戦・占領 144
「鎌倉文庫」のこと (巖谷大四) 151
大衆文化・文芸の流れ (尾崎秀樹) 156
横浜と長谷川伸 (村上元三) 158
神奈川近代文学年表 167
神奈川県ゆかりの文学者 184
あとがき (保昌正夫) 186
出品協力者 187
財団法人神奈川文学振興会 [名簿] 188

没後十五年 獅子文六展
財団法人神奈川文学振興会
1984.12.13 [24] p B5 判
頒価 500 円
※目次、ページ付無し



ごあいさつ [1]
口絵 (カラー図版) [2]
豊雄と文六 (河盛好藏) [4]
渡仏まで一ふるさと横浜 (尾崎秀樹) [5]
新劇と岩田豊雄 [7]
フランス時代 (藤木宏幸) [7]
築地座から文学座へ (藤木宏幸) [11]
楽屋の岩田先生 (岸田今日子) [12]
獅子文六の軌跡 (尾崎秀樹) [13]
戦後の名作 (尾崎秀樹) [15]
趣味とその仲間 [19]
「ふきだまり会」のこと [再録] (中野好夫) [19]

獅子文六略年譜 [22]
主な出品物 [23]
出品協力者 [24]

生誕百年 武者小路実篤と白樺美術展
武者小路実篤と白樺美術展編集委員会編
財団法人神奈川文学振興会
1985.4.27 174p AB 判
頒価 2,000 円
※別冊『神奈川と白樺派』(12p)あり



神奈川の展覧にあたって (小田切進) 1
一時期 (稲垣達郎) 4
善美の人 (瀬沼茂樹) 6
存在の意味 (本多秋五) 8
挿話 (串田孫一) 9
武者小路実篤と新しき村 (渡辺貫二) 11
パパの日日 (武者小路辰子) 14
「いないよ」の精神 (大津山国夫) 105
「白樺」と美術 (匠秀夫) 110
部門解説 (第一部～第五部) (紅野敏郎)
武者小路実篤年譜 (中川孝)
<文学部門>
第1部 生い立ちから『荒野』前後 19
第2部 「白樺」の時代—『お目出たき人』『その妹』『友情』『人間万歳』 31
第3部 <新しき村>の建設と生長 47
第4部 昭和の足跡—『愛慾』『井原西鶴』『愛と死』『真理先生』 63
第5部 仙川時代 79
<美術部門>
白樺をめぐる大正美術 109
「白樺」と大正美術 116
白樺主催の展覧会 119
草土社・フェウザン会 121
白樺美術館・白樺演劇社 124
「白樺」と西洋美術 128
「白樺」周辺の画家達 (一部カラー図版) 138
武者小路実篤コレクション 163
出品目録 167
追加資料出品目録 172
出品協力者 [173]

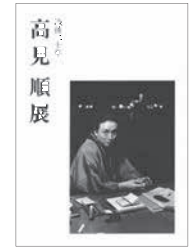
生誕百年 木下杢太郎展
財団法人神奈川文学振興会
1985.8.8 24p B5 判
頒価 500 円
※目次無し



木下杢太郎展の開催にあたって (小田切進) [巻頭]
生い立ち 1
独協中から一高へ 2
大学時代 3
贅言 木下杢太郎—鷗外との対応で (稲垣達郎) 4
東大医局時代 8
太田正雄先生の医学上の業績 (橋本謙) 11
「満州時代」・雲崗 12
欧米留学・名古屋時代 14
東北大学教授時代 16
東大教授時代 20
木下杢太郎文庫 (富士川英郎) 22
略年譜 22

李太郎展によせて (太田元吉) 23
主な出品資料/協力者・出品協力者 24

没後二十年 高見順展
財団法人神奈川文学振興会
1985.9.12 24p B5 判
頒価 500 円
※目次無し



一つのモニュメントを築く—高見順展の開催にあたって (小田切進) [巻頭]
高見順展の構想 (中村真一郎) 1
口絵 (カラー図版) 2
「押してみるつもりで、押されてみる」(吉行淳之介) 3
第1部 高見順の歩み
私小説・自伝小説 4
前衛小説 10
ロマンス 12
第2部 高見順の世界
詩 14
晩年の連作・全体小説 16
「仕事の前の仕事」たち—高見順のスケッチブックから— (カラー図版) 22
略年譜 24
主な出品資料/協力者・出品協力者 [巻末]

日本の子どもの文学展
財団法人神奈川文学振興会
1985.10.18 100p AB 判
頒価 1,400 円
表紙装幀・安野光雅



「日本の子どもの文学展」開催にあたって (小田切進) 1
日本の子どもの文学展によせて 絵本について (赤羽末吉) 3
きらめく宝石 (安西篤子) 3
蔑視の中で (飯沢匡) 3
「子どもの文学展」へ寄せる (稲垣達郎) 4
未来への展望をひらく (いぬいとみこ) 4
人の生涯の文学 (今西祐行) 4
快哉と謝意 (加古里子) 5
問題は未来にあり (木下順二) 5
想像力の宝庫 (渋沢孝輔) 5
大事なこと (庄野潤三) 5
私にとって灯台 (滝平二郎) 6
内田百閒氏のこと (筒井敬介) 6
新しい発見の予感 (鳥越信) 6
開らけゴマ (中里恒子) 6
未来への願いをこめて (灰谷健次郎) 7
子供のころの印象 (羽仁進) 7
意義ぶかいころみである (椋鳩十) 7
画期的な五部構成—多くの人々の関心を (関英雄) 7
児童文学展への期待 (滑川道夫) 8
子どもの文学展に (福田清人) 8
子どもたちのために (藤田圭雄) 8
口絵 (カラー図版) 9
第1部 児童文学・その前史から現代まで 19
解説 (関英雄、富田博之、上笙一郎)
第2部 絵本・さしえの歩み 51
解説 (宮川健郎)
第3部 子どもの歌の流れ 67
解説 (佐藤宗子、上笙一郎)

第4部 教科書の中の児童文学 77
解説 (根本正義)
第5部 女流児童文学の歩み 83
解説 (上笙一郎)
日本児童文学略年表 (富田博之編) 94
日本各地の主な児童文学碑 96
主な出品資料 97
出品協力者 99

尾崎一雄展
財団法人神奈川文学振興会
1986.3.28 32p B5 判
頒価 650 円



開催にあたって 尾崎一雄の文学と、その生涯をしのんで— (いのちあつて今生きることを大切にすゝ心) (小田切進) [巻頭]
父祖の地 2
文学に賭けて 8
本と尾崎一雄 (稲垣達郎) 10
初対面のころ (永井龍男) 11
出会い (丹羽文雄) 12
師・志賀直哉と 13
ヤツデの強さ (安岡章太郎) 14
尾崎さんのこと (藤枝静男) 16
横丁時代 (一部カラー図版) 17
「暢気眼鏡」のこと (井伏鱒二) 21
戦争と病氣 (一部カラー図版) 23
尾崎さんの思い出 (円地文子) 24
「虫のいろいろ」から晩年まで (一部カラー図版) 26
「虫のいろいろ」の素晴らしさ (山本健吉) 27
尾崎さんの人と小説 (本多秋五) 28
直感と理性 (紅野敏郎) 28
基ばなし (大岡昇平) 29
尾崎記念文庫のこと (小田切進) 31
本展の構成について (中野孝次) 32
略年譜 32
主な出品物/協力者・出品協力者 [巻末]

鈴木三重吉没後五十年記念展
<赤い鳥>の森
—日本の子どもの文化の源流
財団法人神奈川文学振興会
1986.7.26 24p B5 判
頒価 600 円
※目次無し



開催にあたって <赤い鳥>の森展のこと (小田切進) [巻頭]
口絵 (カラー図版) 1
夢を追いつけた人 鈴木三重吉 6
第1部 花ひらく子どもの文学—童話と童謡の新時代 (関英雄) 9
メルヘンの森・童話の泉 10
童謡の花園 12
夢みる舞台・童話劇 14
童画の花々 15
第2部 転換期の童話と多彩な読物—大正のロマンから昭和のリアリズムへ (関英雄) 16
多彩な児童読物の分野を拓く 17
転換期の童話作家 18
第3部 暗い谷間に童話の灯 (関英雄) 19
赤い鳥が生んだ童話作家 20
赤い鳥童謡の新星たち 21

子どもの自己表現の開拓…………… 22
 「赤い鳥」の終刊…………… 23
 鈴木三重吉と「赤い鳥」略年譜…………… 24
 主な出品物／出品協力者……………〔巻末〕

大衆文学展 よみがえるヒーローたち
財団法人神奈川文学振興会
1986.10.25 64p B5判
頒価 950円



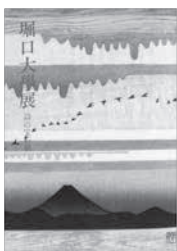
「よみがえるヒーローたち」展につ
 いて (小田切進)…………… 1
 神奈川ならではの (井上靖)…………… 2
 わたしたちの夢 (村上元三)…………… 2
 大衆文学と現代 (瀬沼茂樹)…………… 3
 大衆文学の道しるべ (尾崎秀樹)…………… 4
 明治の「家庭小説」のヒロイン (中村真一郎)…………… 6
 机竜之助の魅力 (堀田善衛)…………… 19
 鞍馬天狗 (小松伸六)…………… 25
 サムライ・ビジネスマン武蔵 (石川弘義)…………… 33
 『君の名は』の真知子 (青木雨彦)…………… 44
 ゴジラ (中沢新一)…………… 50
 怪人二十面相礼賛 (赤塚行雄)…………… 57
 口絵 (カラー図版)…………… 5
 物語のなかの明治 “つづきもの”から立川文庫へ
 (前田愛)…………… 13
 大衆の時代 成立期 (真鍋元之、川合澄男)…………… 17
 ヒーロー総登場 発展期 (真鍋元之、川合澄男)…………… 23
 新しい展開へ 成熟期 (真鍋元之、川合澄男)…………… 31
 戦火の中で (真鍋元之、川合澄男)…………… 37
 戦後 廃墟から繁栄へ (清原康正)…………… 41
 探偵小説から推理小説へ (中島河太郎、権田萬治)…………… 51
 略年表—大衆文学の流れ…………… 60
 主な出品資料…………… 62
 出品協力者…………… 64

川端康成展 没後十五年 人・芸術、その魅力
財団法人神奈川文学振興会
1987.3.21 48p B5判
頒価 750円



川端康成展の開催にあたって
 (小田切進)……………〔巻頭〕
 川端文学のめざしたものの
 (山本健吉)…………… 1
 「伊豆の踊子」について (井上靖)…………… 13
 川端文学の魅力 (瀬沼茂樹)…………… 19
 川端文学の特質 (中村光夫)…………… 43
 口絵 (カラー図版)…………… 1
 旅のファンタジー…………… 13
 川端康成の生涯…………… 19
 川端康成略年譜…………… 20
 都市の景観…………… 25
 死の象徴…………… 29
 日常の狂気…………… 34
 幻想と耽美の夜…………… 36
 〈女性〉性への誘い…………… 39
 舞踊の美…………… 42
 永遠への回帰…………… 43
 美しい日本の私…………… 47
 世界のなかの川端康成 (川端香男里)…………… 48
 主な出品物…………… 48
 出品者・協力者……………〔49〕

堀口大學展 詩の宝宝箱
財団法人神奈川文学振興会
1987.7.11 24p B5判
頒価 500円



開催にあたって (小田切進)……………〔巻頭〕
 『月下の一群』(河盛好蔵)…………… 1
 耳の詩 (飯島耕一)…………… 11
 葉山の堀口先生 (團伊玖磨)…………… 15
 装幀、挿絵本について
 (関野準一郎)…………… 22
 詩人の誕生…………… 1
 口絵 (カラー図版)…………… 2
 誕生から渡航まで…………… 6
 『月下の一群』の頃…………… 7
 『月光とピエロ』から『人間の歌』まで…………… 11
 初期詩編から『砂の枕』まで…………… 12
 『人間の歌』まで…………… 13
 葉山にて…………… 15
 戦後の詩作…………… 16
 翻訳の世界…………… 18
 父の展覧会によせて (高橋すみれ子)…………… 20
 装幀・挿絵の世界 (カラー図版)…………… 21
 略年譜…………… 24
 主な出品物／出品者・協力者……………〔巻末〕

夏目漱石展
財団法人神奈川文学振興会
1987.10.17 32p B5判
頒価 750円
表紙デザイン・永井一正



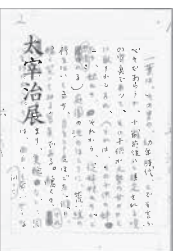
漱石展の開催にあたって
 (小田切進)……………〔巻頭〕
 漱石の書画 (瀬沼茂樹)…………… 1
 漱石と現在 (三好行雄)…………… 19
 漱石と鎌倉 (大岡昇平)…………… 25
 漱石と禅 (井上禪定)…………… 26
 漱石の美の世界 I 絵画 (カラー図版)…………… 1
 漱石の美の世界 II 書蹟…………… 15
 漱石が描いた神奈川…………… 25
 漱石と神奈川 [地図]…………… 32
 出品者・協力者……………〔巻末〕

神奈川文学散歩展 三浦半島の風土と抒情
財団法人神奈川文学振興会
1988.1.30 24p B5判
頒価 550円



〈三浦半島の風土と抒情〉展開催に
 あたって (小田切進)……………〔巻頭〕
 記憶と断絶 (永井路子)…………… 4
 白秋と三崎を結んだ人 (野上義一)…………… 13
 横須賀とわたし (川崎洋)…………… 20
 口絵 (カラー図版)…………… 1
 文学者たちの隠れ里 逗子・葉山…………… 5
 太陽と海と人生と 三浦…………… 11
 緑の軍港・トンネルの町 横須賀…………… 16
 三浦半島ゆかりの詩歌・俳句…………… 20
 戦後の文学に現れた三浦半島…………… 22
 主な出品物／出品者・協力者…………… 24
 三浦半島文学散歩地図／三浦半島の文学散歩案内……………〔巻末折込〕

太宰治展
財団法人神奈川文学振興会
1988.4.23 46p B5判
頒価 700円



太宰治展の開催にあたって
 (小田切進)……………〔巻頭〕
 なぜ今日、太宰治展か (奥野健男)…………… 6
 「走れメロス」について
 (中沢けい)…………… 27
 新風土記叢書『津軽』について (相馬正一)…………… 31
 恋と革命 (矢代静一)…………… 36
 「晩年」「人間失格」(増田みず子)…………… 42
 「人間失格」について (野原一夫)…………… 45
 口絵 (カラー図版)…………… 1
 津軽の風土と太宰治…………… 7
 生い立ちと習作期…………… 9
 地下運動のころ…………… 15
 「晩年」・排除と反抗…………… 19
 原稿生活者…………… 25
 「アカルサハ、ホロビノ姿デアラウカ」…………… 29
 「ヴィヨンの妻」と「斜陽」…………… 33
 人間失格…………… 39
 主な出品物…………… 46
 出品者・協力者……………〔47〕

神奈川文学散歩展 湘南の光と影
 藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町、平塚市、大磯町、二宮町
財団法人神奈川文学振興会
1988.7.23 24p B5判
頒価 550円



〈湘南の光と影〉展の開催にあたっ
 て (小田切進)……………〔巻頭〕
 東家と〈鶴沼文人村〉(宮坂覺)…………… 12
 辻堂桜花園通り (山田宗睦)…………… 19
 ふるさとは海岸 (菊村到)…………… 23
 口絵 (カラー図版)…………… 1
 明治の湘南…………… 5
 文士多彩—大正から昭和へ…………… 10
 湘南と戦後の文学…………… 19
 主な出品資料／出品者・協力者…………… 24
 湘南の文学散歩地図／湘南の文学散歩案内……………〔巻末折込〕

堀辰雄展 生涯と芸術
財団法人神奈川文学振興会
1988.10.22 32p B5判
頒価 650円



堀辰雄展の開催にあたって
 (小田切進)……………〔巻頭〕
 全体の構成 (中村真一郎)…………… 1
 小説へのしたたかな意志 (清水徹)…………… 7
 「曠野」について (池澤夏樹)…………… 16
 三つの窓 (鈴木貞美)…………… 19
 堀辰雄の手紙 (富士川英郎)…………… 29
 病床の日々 (堀多恵子)…………… 30
 口絵 (カラー図版)…………… 2
 第1部 生涯 堀辰雄の風景…………… 7
 向島 めざめるころまで…………… 8
 軽井沢 高原のフーガ…………… 10
 交流 師と友と…………… 13

大和路・信濃路 いにしえの心を求めて…………… 15
 小品・エッセイ 「小さき絵」…………… 18
 第2部 芸術 堀辰雄の軌跡…………… 19
 ロマンの発展 「聖家族」から「万葉小説」まで…………… 20
 同人誌 創作と編集と…………… 26
 読書 書物との対話…………… 28
 信濃追分の里にて…………… 30
 部門解説 (中村真一郎、谷田昌平)…………… 32
 略年譜／主な出品物…………… 32
 出品者・協力者……………〔巻末〕

中里恒子展 一物語のこころ—
財団法人神奈川文学振興会
1989.4.15 32p B5判
頒価 600円



中里恒子展の開催にあたって—終生
 かわらず神奈川を愛した作家
 (小田切進)……………〔巻頭〕
 中里さんと私 (宇野千代)…………… 1
 『まりあんぬ物語』誕生のころ
 (巖谷大四)…………… 10
 持続ということ (竹西寛子)…………… 27
 満開の花の下に (堀田善衛)…………… 31
 口絵 (カラー図版)…………… 1
 まりあんぬ・ものがたり…………… 8
 第1部 前半生…………… 11
 少女・中里恒の物語風景…………… 12
 明るく日光室の時代…………… 13
 第2部 後半生…………… 21
 異国への道…………… 22
 魔の刻への誘い…………… 24
 うつつの日々…………… 28
 死をめぐる物語…………… 30
 略年譜…………… 32
 主な出品物…………… 32
 出品者・協力者……………〔巻末〕

神奈川文学散歩展 横浜—文学の港
財団法人神奈川文学振興会
1989.7.22 32p B5判
頒価 700円



神奈川文学散歩展〈横浜—文学の港〉
 開催にあたって
 (小田切進)……………〔巻頭〕
 ヨコハマの暗と明—明治～昭和初期
 の文学瞥見 (内田四方蔵)…………… 21
 なつかしい風 (生島治郎)…………… 26
 ハマッ子作家と海 (青木雨彦)…………… 28
 水の匂い (岡松和夫)…………… 30
 口絵 (カラー図版)…………… 1
 第1部 舞台は横浜…
 山手—異国の丘…………… 9
 〈季節のない街〉…………… 13
 港の風景—その昼と夜…………… 13
 横浜の影と生命…………… 16
 田園・いまむかし…………… 18
 第2部 開港から国際港都へ
 開港場と居留地の街…………… 19
 大正期の横浜…………… 25
 混乱と繁栄—昭和期…………… 29
 横浜文学散歩地図／横浜の文学略年表／主な出品物……………〔巻末折込〕
 出品者・協力者……………〔巻末〕

吉川英治展
財団法人神奈川文学振興会
1989.10.21 48p B5判
頒価 700 円



吉川英治展の開催にあたって (小田切進) [巻頭]
かがみ女 (杉本苑子) 1
吉川英治の伝奇小説と維新もの (早乙女貢) 17
生まれ出づる悩み「私本太平記」の誕生 (松本昭) ... 35
吉川英治先生の絵 (杉本健吉) 46
口絵 (カラー図版) 1
人気作家への道 9
文学の新しい展開 21
国民文学の創造へ 29
人間・吉川英治 38
書画の世界 (カラー図版) 43
部門解説 (尾崎秀樹、吉川英明、城塚朋和、清原康正)
略年譜 47
主な出品物 48
出品者・協力者 [巻末]

有島武郎・有島生馬・里見弴展
—白樺派三兄弟の芸術—
財団法人神奈川文学振興会
1990.3.31 40p B5判
頒価 700 円



有島三兄弟展の開催にあたって (小田切進) [巻頭]
因縁 (本多秋五) 1
本展の構成 (紅野敏郎) 9
「或る女」／「海の夫人」(江種満子) 21
眼の人、有島生馬 (酒井忠康) 29
志賀直哉と里見弴 (阿川弘之) 33
口絵 (カラー図版) 1
有島家の物語 プロローグ 10
三人の幼少時代 11
目覚めのころ 12
新しい世界へ 14
弴の「白樺」前史 16
「白樺」の時代 17
有島武郎の文学と思想 21
有島生馬の美術と文学 29
里見弴文学の世界 33
エピソード 有島家の多彩な肖像 39
主な出品物 40
有島三兄弟略年譜 [巻末折込]
出品者・協力者 [巻末]

神奈川文学散歩展 海辺のきらめき
—小田原・真鶴・湯河原
財団法人神奈川文学振興会
1990.10.20 24p B5判
頒価 550 円



神奈川文学散歩展〈海辺のきらめき—小田原・真鶴・湯河原〉開催にあたって (小田切進) [巻頭]
小田原好日 (北條秀司) 4
会えなかった先輩たち (藤田湘子) 13
文学と小田原、真鶴、湯河原 (石井富之助) 21
口絵 (カラー図版) 1

風土が育んだ作家たち 5
保養地・別荘地の風景 11
車窓から 16
文人たちの宿 17
主な出品物 24
小田原・真鶴・湯河原文学散歩地図／小田原・真鶴・湯河原文学略年表 [巻末折込]
出品者・協力者 [巻末]

山本周五郎展
財団法人神奈川文学振興会
1991.4.6 32p B5判
頒価 600 円



純文学と大衆文学の垣根をとりはらう—山本周五郎展の開催にあたって (小田切進) [巻頭]
山本周五郎文学の発見 (奥野健男) 9
生きることを好きにさせる力 (辻邦生) 21
山本周五郎先生と私 (佐多芳郎) 25
たとえば人生派 (藤沢周平) 29
口絵 (カラー図版) 2
第1部 〈なかい坂〉を行くひと—前半生の歩み 7
第2部 巡礼としての文学—山本周五郎の作品世界—
部門・コーナー解説 (木村久通典、山田宗睦、早乙女貢)
略年譜 31
主な出品物 32
山本周五郎と横浜 [地図] [巻末折込]
出品者・協力者 [巻末]

神奈川文学散歩展 都市の叫び、水のささやき—川崎と文学
財団法人神奈川文学振興会
1991.7.20 24p B5判
頒価 550 円



神奈川文学散歩展〈都市の叫び、水のささやき—川崎と文学〉開催にあたって (小田切進) [巻頭]
誇り (瀬戸内寂聴) 1
多摩川のアダムとイヴ (島田雅彦) 12
「夕べの雲」の一家 (庄野潤三) 20
口絵 (カラー図版) 1
第1部 多摩川に生まれて～川崎の原風景 5
岡本かの子 生命の河 6
佐藤惣之助 水と祝祭の詩 10
第2部 時の流れに～都市の文学風景 13
川のほとり 多摩川流域の風景 14
丘から 多摩丘陵の風景 18
主な出品物 24
川崎文学散歩地図／川崎文学略年表 [巻末折込]
出品者・協力者 [巻末]

日本の詩歌展—詩・短歌・俳句の一〇〇年
財団法人神奈川文学振興会
1991.10.19 56p B5判
頒価 800 円

日本の詩歌展—詩・短歌・俳句の一〇〇年開催にあたって (小田切進) [巻頭]
二つのアンソロジー アナキズム系とマルキシズム系の (伊藤信吉) 17

二十代の空穂 (窪田章一郎) ... 25
好みと影響 (谷川俊太郎) 39
「寒雷」の出發 (加藤楸邨) 45
詩歌をその全体で見る意味 (大岡信) 47
「新歌人集団」の発足 (近藤芳美) 52
去年今年貫く棒の如きもの 高浜虚子 (飯田龍太) 54
口絵 (カラー図版) 1
新しい詩歌の時代 9
短歌・俳句の革新 13
近代短歌の出版 14
近代詩の成熟と展開 15
〈スポット〉抒情小曲—大正センチメンタル 20
近代短歌の開花 21
〈スポット〉海外詩の翻訳と影響 26
革新と伝統と—大正俳句の流れ 27
現代詩の胎動 31
昭和初期の詩壇 35
昭和短歌の幕開け 40
現代俳句への道 42
戦争をめぐる 46
戦後詩の諸相 48
短歌の再生 51
戦後俳句の展開 53
部門解説 (伊藤信吉、熊沢正一、古沢太穂、葛原繁、草間時彦、北村太郎、島田修二、入沢康夫、小海永二、佐佐木幸綱)
主な出品物 55
出品者・協力者 56
「詩・短歌・俳句一〇〇年のあゆみ」略年譜 [巻末]



生誕一〇〇年 芥川龍之介展
財団法人神奈川文学振興会
1992.4.4 64p B5判
頒価 900 円
*付録・昭和2年7月25日付「東京日日新聞」朝刊11面(複製)



芥川展の開催にあたって (小田切進) [巻頭]
新しい芥川像—本展の構想について (中村真一郎) 1
芥川龍之介の想出 (加藤周一) 2
「神々の微笑」(遠藤周作) 2
芥川のなかのフランス文学 (辻邦生) 3
森鷗外と芥川龍之介 (秋山駿) 3
「理想の弟子」から (高橋英夫) 4
芥川龍之介研究の新しい地平に (宮坂寛) 4
芥川と映画 (川本三郎) 5
前門の芥川、後門の龍之介 (荻野アンナ) 5
ある感慨をこめて (芥川瑠璃子) 6
口絵 (カラー図版) 7
下町の人「大川の水」「少年」 13
「新思潮」から〈木曜会〉へ「羅生門」「鼻」 19
芥川と外国文学「蜘蛛の糸」「藪の中」 27
“切支丹”への関心「奉教人の死」「きりしとほろ上人伝」
「西方の人」 31
歴史の流れの中に「地獄変」「戯作三昧」「舞踏会」 35
田端の時代「秋」「侏儒の言葉」「保吉の手帳から」 39
中国への旅「杜子春」「北京日記抄」「湖南の扇」 47
軽井沢での出会い「越し人」 51
晩年「河童」「歯車」「或阿呆の一生」 53
国際作家 Akutagawa 61
部門解説 (中村真一郎)

略年譜 63
主な出品物 64
出品協力者 [巻末]

没後五〇年 中島敦展—一閃の光芒—
財団法人神奈川文学振興会
1992.9.26 32p B5判
頒価 600 円
題字・安野光雅



中島敦展の開催にあたって (小田切進) 3
想像力と詩的対象と—中島敦の世界の二つの柱 (辻邦生) 1
中島敦の生涯と世界 (田鍋幸信) 7
横浜が横浜であった時代 (勝又浩) 17
おかしみと形而上性 (竹西寛子) 24
三作の脚色 (矢代静一) 27
多面の才の人 (菅野昭正) 29
口絵 (カラー図版) 1
生い立ち—異郷で 8
文学へのめざめ—学生時代 11
横浜時代—「なほ高く上らむ」 13
夢と現実のはざまで—南洋へ 20
彗星のように—作家の誕生、そしてすぐの死 23
中島敦の世界
「斗南先生」 10
「かめれおん日記」 16
「光と風と夢」 19
「李陵」 28

部門解説 (田鍋幸信)
略年譜 31
主な出品物／出品協力者 32

「湘南の文学と美術」展
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会、平塚市美術館編
財団法人神奈川文学振興会、県立神奈川近代文学館、平塚市美術館
1993.9.18 96p 29×23cm
頒価 1,800 円



「湘南の文学と美術」展開催にあたって (中野孝次) 3
鶴沼と「白樺」の人びと (紅野敏郎) 4
湘南を描いた洋画家たち (原田実) 5
二宮・大磯・平塚 7
茅ヶ崎・藤沢 21
〈杏雲堂と南湖院〉 30
〈東家と作家たち〉 35
〈「白樺」と湘南〉 37
鎌倉・逗子・葉山 45
〈鎌倉文庫〉 71
〈文学と美術の交流〉 76
徳富蘆花と黒田清輝 76
泉鏡花と籾木清方 78
「白樺」の人びと 80
朝井閑右衛門と詩人たち 82
出品目録 美術関係 86
出品目録 文学関係 88
画家と湘南 関係事項 90
文学者と湘南 関係事項 92

展覧会協力者..... 94

馥郁タル火夫ヨ 生誕 100 年 西脇順三郎 その詩と絵画 神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会、神奈川県立近代美術館編 神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会、神奈川県立近代美術館 1994.5.28 136p A4 判変型



開催にあたって..... 3
無類の詩人 (粟津則雄) 6
煙っている光線 (飯田善國) 9
詩人西脇の孤独 (中村真一郎) 20
マージョリとの出会い (西脇緑) 25
昭和十年代の西脇順三郎 (那珂太郎) 32
詩集『失われた時』 (江森國友) 43
『壊歌』・天体的意識のパークッション (渋沢孝輔) 51
晩年の西脇さん (飯島耕一) 55
西脇絵画の透明感 (岡田隆彦) 89
画家としての西脇順三郎 (池田満寿夫) 101
文学部門 (新倉俊一)
馥郁タル火夫ヨ 1894-1934 13
幻影の人 1935-1949 29
豊饒の女神 1950-1962 35
永遠の旅人 1963-1982 47
美術部門 (橋秀文)
詩 (粟津則雄選) 112
画論 (酒井忠康選) 119
著書目録・美術関係文献目録 (新倉俊一編) 126
年譜 (新倉俊一編) 129
出品目録 文学関係 132
出品目録 美術関係 134
展覧会協力者 136

開館 10 周年・増築落成記念 収蔵コレクション展 財団法人神奈川文学振興会編 県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会 1994.10.1 72p AB 判 頒価 1,000 円



開館十周年展にあたって(中野孝次) 3
収蔵コレクション展案内 (保昌正夫) 4
口絵 7
中村光夫文庫 16
村井弦齋資料 18
森鷗外資料 19
近代作家と原稿用紙 (紀田順一郎) 19
広津柳浪・和郎・桃子資料 20
夏目漱石資料 22
内田百閒資料 23
生田長江資料 23
中川孝収集 実篤文庫 24
里見弴資料 25
渾大防小平資料 25
谷崎潤一郎資料 26
芥川龍之介資料 27
藤森成吉文庫 28
福本和夫文庫 28
昭和政治史資料瞥見 (伊藤隆) 29

尾崎一雄文庫 30
添田啞蟬坊・知道文庫 32
中西悟堂文庫 33
中野重治資料 33
神西清文庫 34
堀辰雄文庫 34
中里恒子文庫 35
中島敦文庫 36
長篠康一郎収集 太宰治文庫 37
野間宏文庫 38
戦後文学資料について (川西政明) 39
高橋和巳資料 40
矢代幸雄資料 41
木下奎太郎文庫 41
西脇順三郎資料 43
北村初雄資料 43
近藤東文庫 44
杉本三木雄文庫 45
栗林一石路資料 45
大野林火文庫 46
楠木憲吉文庫 46
鈴木三重吉・赤い鳥文庫 47
那須辰造文庫 47
滑川道夫文庫 47
藤田圭雄文庫 47
邦枝完二資料 48
子母沢寛資料 48
土師清二資料 49
山本周五郎資料 50
大衆文学関係コレクション (清原康正) 50
獅子文六文庫 51
北林透馬資料 52
北原武夫資料 52
蘭郁二郎資料 53
龍胆寺雄資料 53
高木健夫文庫 54
新聞小説の切り抜き (川合澄男) 55
新聞連載小説資料 56
勝呂忠文庫 56
カラー図版 58
口絵華やかなりし頃—明治期挿絵資料 (青木茂) 58

泉鏡花展—水の迷宮— 財団法人神奈川文学振興会編 県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会 1995.4.22 64p B5 判 頒価 900 円



開催にあたって 2
「泉鏡花展—水の迷宮—」の構成 (村松定孝) 3
鏡花先生の芝居 (坂東玉三郎) 15
鏡花と金沢—「川向こうの世界」(小林輝治) 28
鏡花における母子神話 (山口昌男) 55
「水の迷宮」 泉鏡花—水の迷宮 (種村季弘) 6
「人と文学」 23
出生から上京まで—鏡花世界の原風景— (松村友視) 24
紅葉門下時代—幻想文学の成立— (松村友視) 30
逗子と鏡花 (川村二郎) 40
麴町番町時代—鏡花文学の大成— (松村友視) 50
略年譜 62
主な出品物 63
出品・協力者 64

神奈川文学散歩展 鎌倉文学の理想郷 財団法人神奈川文学振興会編 県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会 1995.10.21 64p B5 判 頒価 900 円



開催にあたって 1
鎌倉の文学者たち (岡松和夫) 3
白波に洗われて (詩) (田村隆一) 5
鎌倉の秋 (尾崎左永子) 6
文士に優しい町 (安西篤子) 35
“鎌倉文士”林房雄 (江藤淳) 44
戦時中の鎌倉文士 (富岡幸一郎) 52
戦後鎌倉の詩歌俳人 (三木卓) 61
口絵 5
第1部 谷戸の風、浪の音—明治大正の鎌倉— 13
第2部 鎌倉文士の時代—震災後~昭和の鎌倉— 27
<鎌倉文士十二人> 35
第3部 古都の近代文学—戦後の鎌倉— 53
主な出品資料 63
鎌倉文学散歩地図/鎌倉近代文学年表 [巻末折込]
出品・協力者 [巻末]

神奈川文学散歩展 箱根・県央—緑と風と文学と 財団法人神奈川文学振興会編 県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会 1996.4.20 48p B5 判 頒価 700 円



神奈川文学散歩展「箱根・県央—緑と風と文学と」開催にあたって [巻頭]
西湘山水—明治の紀行文について (近藤信行) 15
それまでの十年 (黒井千次) 29
郷土の作家たち—その縁とトボス (清原康正) 35
透谷も越えた小仏峠 (今西祐行) 44
口絵 1
第1部 箱根 9
箱根の開発—明治— 10
箱根の発展—大正— 17
箱根の変貌—昭和— 22
箱根の戦後風景 28
第2部 県央 33
郷土の作家 34
風土を描く 40
主な出品資料 47
箱根・県央文学散歩地図/箱根・県央文学略年表 [巻末折込]
出品・協力者 [巻末]

大岡昇平展 財団法人神奈川文学振興会編 県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会 1996.10.19 64p B5 判 頒価 900 円



開催にあたって (中野孝次) 2
大岡昇平・讃 (埴谷雄高) 4
親身な人 (澤地久枝) 15
大岡さんの思い出 (ドナルド・キーン) 37

「事件」をめぐる (佐木隆三) 45
大岡昇平さんのゴルフ (水上勉) 57
文学的青春期 (秋山駿) 13
戦争と大岡昇平 (加賀乙彦) 27
同時代への眼 (中野孝次) 39
歴史小説の世界 (吉田漱生) 49
成城での日々 (中野孝次) 55
<スボット>
「わが美的洗脳」 26
鉢の木会 48
「ボヤキの大岡」 54
大岡と神奈川 58
略年譜 60
主な出品物 62
出品協力者 63

立原正秋展 財団法人神奈川文学振興会編 県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会 1997.4.12 64p B5 判 頒価 900 円



開催にあたって 2
立原正秋とのケンカのこと (本多秋五) 4
若き日の立原正秋 (小川国夫) 25
父のような人 (宮城谷昌光) 41
「日本の庭」について (岡松和夫) 47
回想 (桶谷秀昭) 53
口絵 5
第1部 冬の原風景—前半生 (高井有一) 14
第2部 小説家立原正秋の誕生 (高井有一) 32
第3部 立原文学の世界 (高井有一) 44
立原正秋と鎌倉 58
略年譜 60
主な出品資料 62
出品・協力者 63

文学の挿絵と装幀展 財団法人神奈川文学振興会編 県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会 1997.10.4 76p AB 判 頒価 1,000 円 表紙デザイン・題字・安野光雅



開催にあたって 3
挿絵のゆりかごの時代 (安野光雅) 5
夢の手本 (池内紀) 40
挿絵・口絵と印刷製版技術の変遷 (渡辺圭二) 53
口絵 6
第1部 明治・大正の文学と挿絵 (酒井忠康) 19
第2部 近代挿絵の確立 (植田満文) 33
第3部 近代挿絵の開花 (尾崎秀樹) 51
主な出品資料 73
出品・協力者 75

広津柳浪・和郎・桃子展—広津家三代の文学
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
1998.4.11 68p B5判
頒価 900円



開催にあたって…………… 2
広津家の人々・広津家の資料（阿川弘之）…………… 4
広津柳浪作品と明治の貧困社会（紀田順一郎）…………… 21
広津柳浪・和郎・桃子（紅野敏郎）…………… 26
思い出ふたつ（水上勉）…………… 37
広津先生と松川裁判（本田昇）…………… 50
文学表現と男の誠実（澤地久枝）…………… 59
口絵…………… 5
第1部 柳浪の時代—明治（中島国彦）…………… 13
第2部 和郎の時代—大正・昭和（橋本迪夫）…………… 27
第3部 広津家の終章—桃子（松原新一）…………… 57
広津桃子作品年譜…………… 62
主な出品資料…………… 63
出品・協力者…………… 64
広津家系図の調査報告…………… 65
略年譜…………… [巻末折込]

谷崎潤一郎展
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
1998.10.3 64p B5判
頒価 900円



開催にあたって（中野孝次）…………… 2
谷崎文学の魅力と未来（河野多恵子）…………… 4
谷崎文学の思い出（ دونالد・キーン）…………… 19
倚松庵十首（大岡信）…………… 40
谷崎源氏と松子夫人（瀬戸内寂聴）…………… 45
“小説の神様”（E.G. サイデンステッカー）…………… 48
谷崎文学への誘い…………… 5
第1部 大輪・谷崎の誕生…………… 13
第2部 鬼才撩乱…………… 21
第3部 美神・松子の出現…………… 31
第4部 性と死—晩年の谷崎…………… 49
部門解説（千葉俊二）…………… 62
主な出品資料…………… 63
出品・協力者…………… 64
略年譜／「YOKOHAMA と谷崎」[地図]…………… [巻末折込]

開高健展
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
1999.4.10 72p B5判
頒価 900円
表紙デザイン・江島任



開催にあたって（中野孝次）…………… 4
海を越えて 開高健展図録に寄せる（牧羊子）…………… 6
「日本三文オペラ」について（梁石日）…………… 30
共感性の強い作家・人間開高健（ジャック・ラローズ）…………… 49
移動性の物書き（島田雅彦）…………… 60
口絵…………… 8

第1部 焼跡・闇市からの出発（加賀乙彦）…………… 21
第2部 力強く、遠くへ（黒井千次）…………… 27
〈スポット〉“トリス文化”の花形演出家…………… 34
第3部 ヴェトナム（加賀乙彦）…………… 35
第4部 ひそやかに、深く（高橋英夫）…………… 45
〈スポット〉白いページ—エッセイ、対談…………… 53
第5部 釣り人、世界を行く（高橋英夫）…………… 55
〈スポット〉「面白半分」の編集…………… 62
第6部 開高健のダンディズム（黒井千次）…………… 63
〈スポット〉牧羊子、そして開高道子…………… 68
主な出品資料…………… 71
出品・協力者…………… 72
略年譜…………… [巻末折込]

永井荷風展
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
1999.10.2 64p B5判
頒価 900円
表紙デザイン・江島任



開催にあたって（中野孝次）…………… 2
竹の心—まへがきにかへて。（安岡章太郎）…………… 4
アメリカでの荷風（川本三郎）…………… 21
荷風を読むという経験（林望）…………… 33
詩人荷風（高橋睦郎）…………… 46
口絵…………… 5
第1部 荷風の原点（竹盛天雄）…………… 13
第2部 耽美派の栄光と屈折（竹盛天雄）…………… 25
第3部 偏奇館の日々（近藤信行）…………… 35
エピソード 荷風の戦後（近藤信行）…………… 51
略年譜…………… 60
主な出品資料…………… 62
出品・協力者…………… 63

「司馬遼太郎が愛した世界」展
NHK、NHK プロモーション、朝日新聞社編 神奈川近代文学館編集協力
NHK、NHK プロモーション、朝日新聞社
1999 224p A4判変型
頒価 2,000円



ごあいさつ…………… 7
「魔法の森」の入口で（井上ひさし）…………… 10
「髪と蟹の、必ずしも合理的でない話」（安野光雅）…………… 12
「辺境」の新聞記者—司馬遼太郎（青木彰）…………… 14
図版
第1章 司馬遼太郎が愛した「歴史」の世界…………… 17
第2章 司馬遼太郎の「原点」…………… 67
第3章 司馬遼太郎の「旅」1『街道をゆく』…………… 83
第4章 司馬遼太郎が愛した「美術」の世界…………… 121
第5章 司馬遼太郎が託した「未来」この国のゆくえ…………… 163
司馬遼太郎—歴史と文学（松本健一）…………… 193
司馬遼太郎の美術観（中塚宏行）…………… 197
司馬遼太郎年譜…………… 200
作品目録…………… 212
謝辞…………… 223

原爆文学展 ヒロシマ・ナガサキ
—原民喜から林京子まで—
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2000.10.7 64p B5判
頒価 900円
表紙デザイン・江島任



開催にあたって（中野孝次）…………… 2
長崎からの発信（林京子）…………… 4
それは人間の列ではなかった。亡者の列だった。…………… 5
一九四五年八月六日・八月九日…………… 5
広島原爆文学地図…………… 8
長崎原爆文学地図…………… 10
第1部 何が何でも書き残さねば—原爆文学の誕生…………… 17
凝縮された言葉に託して—原爆詩歌…………… 30
第2部 原爆と文学—多様化する「ヒロシマ・ナガサキ」の表現…………… 31
一九五〇年代後半—一九六〇年代…………… 31
身体と言葉によって—原爆戯曲…………… 42
第3部 「原爆」を抱えて生きる…………… 43
—被爆者の現在を描く—一九七〇年代…………… 43
半世紀—原爆文学展に（竹西寛子）…………… 48
子供たちに… 原爆児童文学…………… 52
第4部 原爆文学の新たな試み…………… 53
—核文学の時代へ—一九八〇年代…………… 53
「地の群れ」の思い出（坂本一亀）…………… 54
アメリカにおける日本の原爆文学（ジョン・W. トリート）…………… 61
「ヒロシマ・ナガサキ」を原点として—多様な外国文学…………… 62

部門・作家解説（黒古一夫）…………… 63
主な出品資料…………… 63
出品者・協力者…………… 64
原爆文学年表…………… [巻末折込]

子どもの本の世界展 20世紀から21世紀への贈り物
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2001.4.7 64p B5判
頒価 1,000円
表紙デザイン・司修



開催にあたって…………… 2
楽しみな21世紀（佐藤さとる）…………… 4
子供だった時も母であった時も…………… 5
（佐野洋子）…………… 5
秘密の切符（江國香織）…………… 6
世紀とジャンルを越えて（山下洋輔）…………… 7
第1部「子どもの本の世界」へ扉をひらく…………… 9
20世紀前半（上笙一郎）…………… 9
夢と幻想の童話（上笙一郎）…………… 25
子どもの日常と童話（上笙一郎）…………… 27
雑誌の世界 子どもの夢と日常（上笙一郎）…………… 29
童話・詩 I 童心をうたう（三木卓）…………… 32
第2部「子どもの本の世界」を求めて 20世紀後半…………… 33
（佐藤宗子）…………… 33
カラー図版
子どもの日常の物語（佐藤宗子）…………… 49
もう一つの世界の物語（佐藤宗子）…………… 55
絵本という王国（司修）…………… 60
童話・詩 II ことばと音の遊び（三木卓）…………… 62
主な出品資料…………… 63
出品・協力者…………… 64
作品年表…………… [巻末折込]

野間宏と戦後派の作家たち展
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2001.10.6 64p B5判
頒価 900円
表紙デザイン・司修



開催にあたって…………… 2
書いてますか（黒井千次）…………… 4
野間宏—正義の騎士（大庭みな子）…………… 24
野間さんの小説—「全体小説」（小田実）…………… 34
律儀で純真—若き日の島尾敏雄（庄野潤三）…………… 38
口絵…………… 5
第1部 野間宏の文学世界…………… 17
形成と展開…………… 18
〈スポット〉行動派作家の足跡 I…………… 25
到達と終焉…………… 26
〈スポット〉行動派作家の足跡 II…………… 30
第2部 戦後派の作家たち…………… 35
戦争—巨大な蕩尽が遺したもの…………… 35
〈スポット〉あさってと戦後派…………… 46
前衛—芸術表現のたたかい…………… 47
第3部 野間宏をめぐる人々…………… 60
解説（紅野謙介）…………… 63
主な出品資料…………… 63
出品・協力者…………… 64
野間宏と戦後派 11 年表…………… [巻末折込]

夏目漱石遺品受贈記念 夏目漱石展
—21世紀へのことば—
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2002.4.27 64p B5判
頒価 900円
表紙デザイン・司修



開催にあたって…………… 2
漱石—21世紀へのことば…………… 4
（岡松和夫）…………… 4
漱石の孤独（奥泉光）…………… 25
もうひとつの vastness（リービ英雄）…………… 38
口絵…………… 5
プロローグ 漱石山房という空間…………… 13
1部 漱石山房での日々…………… 15
I 朝日新聞への入社…………… 16
II 漱石山房への転居…………… 17
「吾輩」の死—漱石山房以前の作品…………… 22
III 修善寺の大患以後…………… 26
半生をふりかえる…………… 32
IV 最晩年—絶筆「明暗」…………… 37
2部 漱石山房の人びと…………… 39
I 松山、熊本で出会った人びと…………… 40
II 装幀・挿絵を手がけた画家たち…………… 44
III 帰国後に教えを受けた人びと…………… 46
IV 晩年に門をたたいた文学青年たち…………… 51
21世紀へのことば…………… 54
エピソード 漱石の書画（カラー図版）…………… 57
解説（石崎等）…………… 56
略年譜…………… 56
主な出品資料…………… 63
出品・協力者…………… 64

生誕100年記念展 歌びと 吉野秀雄
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2002.10.12 64p B5判
頒価900円
表紙デザイン・司修



開催にあたって…………… 2
歌、すなわち人生(道浦母都子)… 4
肝にひびかう書(加藤僖一) … 15
吉野秀雄先生のこと(白井欽一) …… 43
口絵(カラー図版) …… 5
書と落款印…………… 7
I 生い立ち …… 17
II 歌びとへの道 …… 25
III 妻を哭する絶唱 文壇を震撼さす …… 35
IV 悲しみの淵から …… 41
V 良寛への傾倒 …… 47
〈コーナー 旅と酒〉 …… 52
VI 自在の境地 …… 57
解説(島田修二、中野孝次)
主な出品資料…………… 63
出品・協力者…………… 64
略年譜……………〔巻末折込〕

不滅の剣豪3人展
—鞍馬天狗、眠狂四郎、宮本武蔵
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2003.4.26 64p B5判
頒価900円
表紙デザイン・横尾忠則



開催にあたって…………… 2
剣豪は死なず(早乙女貢) …… 4
文明への疑惑(鶴見俊輔) …… 27
時代小説を変えた!(宮本昌孝) …… 44
吉川武蔵について(津本陽) …… 57
口絵(カラー図版) …… 5
鞍馬天狗之巻(早乙女貢) …… 17
眠狂四郎之巻(清原康正) …… 31
宮本武蔵之巻(細田一男) …… 45
吉川『武蔵』見参! …… 46
吉川『武蔵』に挑む! …… 58
主な出品資料…………… 63
出品・協力者…………… 64

井上靖展 詩と物語の大河
—北国 氷壁 敦煌 しろばんば 孔子—
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2003.10.4 64p B5判
頒価900円
表紙デザイン・司修



開催にあたって…………… 2
最後のひとこと 酸素天幕の井上靖さん(大岡信) …… 4
見事な首尾一貫(宮本輝) …… 34
井上作品映画化の思い出(熊井啓) …… 48
口絵…………… 5
第1部 作家への歩み 芥川賞受賞まで …… 15

I 生い立ち …… 16
II 彷徨の時代 …… 19
III 雌伏の十年 …… 22
第2部 井上文学の世界…………… 25
I 詩—「北国」から「星蘭干」まで …… 26
II 自伝的小説—「あすなる物語」から「わが母の記」まで…………… 30
III 現代小説—「闘牛」から「わだつみ」まで …… 35
IV 歴史小説—「漆胡樽」から「孔子」まで …… 44
V エッセイ・紀行 …… 58
解説(曾根博義)
主な出品資料…………… 63
出品・協力者…………… 64
略年譜……………〔巻末折込〕

21世紀文学の預言者 芥川龍之介展
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2004.4.24 64p B5判
頒価900円
表紙デザイン・司修



開催にあたって…………… 2
下町の芥川龍之介(増田みず子) … 4
ふと現実を離れる瞬間—鶴沼時代の芥川(川本三郎) …… 5
「自嘲 水滸や鼻の先だけ暮れのこる」(中田雅敏) …… 58
口絵…………… 6
第1部 生い立ち…………… 13
第2部 文壇デビューから職業作家へ…………… 21
第3部 苦悩の時代…………… 35
第4部 晩年・死…………… 45
キリスト教との出会いとその深化…………… 29
詩的精神あるいは詩なるもの…………… 42
末期の眼がとらえた聖書、キリスト…………… 54
解説(宮坂覺)
芥川の預言…………… 62
主な出品資料…………… 63
出品・協力者…………… 64
芥川と神奈川ゆかり地図・年表／略年譜／家系図……………〔巻末折込〕

開館二〇周年記念収蔵コレクション展 作家の筆跡。作家の逸品。
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2004.10.2 80p AB判
頒価1,000円
表紙デザイン・司修



開催にあたって…………… 2
収蔵コレクション案内(紀田順一郎) …… 4
漱石遺物の思い出(夏目房之介) …… 23
“気力”(山内静夫) …… 28
川端康成関係の出品資料について(川端香男里) …… 37
「暗い絵」執筆のころ(野間光子) …… 47
遺品の整理(荻原海一) …… 58
続『ぼっぼのお手帳』(鈴木すず) …… 60
口絵…………… 7
第1部 明治・大正の作家…………… 17
〈スポット〉作家の少年・少女時代…………… 33
〈スポット〉関東大震災の時作家は? …… 34
第2部 昭和の作家…………… 35
〈スポット〉太平洋戦争と作家…………… 53

第3部 詩歌…………… 54
第4部 児童文学 …… 60
題5部 時代小説 …… 64
〈スポット〉演劇関連資料…………… 68
〈スポット〉稀観本・稀観雑誌…………… 69
文庫・コレクション一覧…………… 70
これまでの展覧会…………… 75

生誕80年・没後35年記念展
三島由紀夫ドラマティックヒストリー
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2005.4.23 64p B5判
頒価900円
表紙デザイン・司修



開催にあたって…………… 2
三島由紀夫と演劇 (ドナルド・キーン)…………… 4
三島さんの英語(佐伯彰一) …… 5
あれから(瀬戸内寂聴)…………… 6
口絵…………… 7
第1部 プロローグ・詩を書く少年…………… 15
第2部 「三島由紀夫」の登場 …… 19
第3部 仮面劇の幕開け…………… 27
第4部 肉体改造の福音…………… 33
第5部 時代への刺客…………… 41
第6部 エピローグ・豊饒の海へ…………… 49
劇中劇・様々な〈演出〉—新劇、歌舞伎…………… 54
第7部 新たなプロローグ・21世紀への三島文学 …… 59
解説(佐藤秀明、井上隆史、山中剛史)
主な出品資料…………… 62
出品・協力者…………… 64
略年譜／「三島由紀夫と神奈川」[地図]……………〔巻末折込〕

日本の童謡 白秋、八十一そして
まど・みちおと金子みすゞ展
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2005.10.1 64p B5判
頒価900円
表紙デザイン・芦澤泰偉、児崎雅淑



開催にあたって…………… 2
なんだろう、この気持ち(工藤直子) …… 16
王子と姫君(北村薫) …… 17
白秋とマザー・ゲースと八十(鷺津名都江) …… 18
みすゞさんの童謡宇宙・みすゞコスモス(矢崎節夫) …… 50
口絵…………… 4
I 北原白秋—こどもの心、ことばの魔法 …… 19
コーナー 野口雨情と横浜 …… 34
II 西條八十一—金のうた銀のしらべ …… 37
III 金子みすゞ—幻の童謡詩人 …… 49
IV まど・みちお—「ぞうさん」の詩人 …… 55
解説(上笙一郎、三木卓)
主な出品資料…………… 63
出品・協力者…………… 64
関連略年表……………〔巻末折込〕

生誕110年 吉屋信子展
—女たちをめぐる物語
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神

奈川文学振興会
2006.4.22 52p B5判
頒価700円



開催にあたって…………… 1
吉屋さんの笑い声(瀬戸内寂聴)…………… 2
机の上の幾山河(安西篤子) …… 4
口絵……………
第1部 生い立ち……………15
第2部 「花物語」の誕生 ……19
私の見た女たち①…………… 24
第3部 “女流”の主役へ …… 27
私の見た女たち②…………… 30
第4部 戦場へ …… 33
第5部 新たな境地へ …… 39
第6部 歴史小説の大河 …… 45
解説(岩淵宏子)
略年譜…………… 50
主な出品資料…………… 51
出品・協力者…………… 52

中野孝次展—今ここに生きる
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2006.6.10 36p B5判
頒価600円



開催にあたって……………〔巻頭〕
口絵(カラー図版) …… 1
良く生きた人(秋山駿) …… 7
I 遠くへの憧れ(1925～1965) …… 8
〈スポット〉五十年目の日章旗 …… 11
II 海外と日本のはざま(1966～1991) …… 16
〈スポット〉ハラスのいた日々 …… 25
III 心豊かに老年を生きる(1992～2004) …… 26
〈スポット〉盤に臨んで燃える …… 30
略年譜…………… 34
主な出品資料…………… 36
出品・協力者……………〔巻末〕

俳句の魅力展—子規 漱石 虚子 井泉水 山頭火(荻原井泉水文庫受贈記念)
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2006.9.30 64p B5判
頒価900円
題字・石飛博光



開催にあたって……………〔巻頭〕
俳句の魅力(鷹羽狩行) …… 2
最後までに亜浪に甘えた林火(松崎鉄之介) …… 4
俳句という奇跡(小林恭二) …… 5
口絵…………… 7
第1部 近代俳句の黎明期…………… 21
正岡子規…………… 22
夏目漱石…………… 23
河東碧梧桐…………… 24
荻原井泉水…………… 25
高浜虚子…………… 26
第2部 近代俳句の名品…………… 27
渡辺水巴…………… 28

原石鼎 29
飯田蛇笏 30
飯田龍太 31
水原秋桜子 32
山口誓子 33
中村草田男 34
加藤楸郎 35
西東三鬼 36
秋元不死男 37
富安風生 38
大野林火 39
中村汀女 40
星野立子 41
石塚友二 42
石田波郷 43
森澄雄 44
金子兜太 44
鷹羽狩行 45
稲畑汀子 46
第3部 自由律俳句—井泉水・放哉・山頭火 47
萩原井泉水 48
尾崎放哉 54
種田山頭火 56
解説(村上護)
萩原井泉水略年譜 63
主な出品資料 64
出品・協力者 [巻末]

露伴、茂吉、寅彦と小林勇展
一本の道 ある出版人の軌跡
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2006.11.18 24p B5判
頒価 600円



開催にあたって [巻頭]
小林勇氏のごども (斎藤茂太) 1
第1部 露伴、茂吉、寅彦と小林勇
I 岩波書店へ 2
II 鐵塔書院創立 4
III 戦時下の岩波書店で 17
IV 戦後の再興を果たす 20
第2部 文人・冬青小林勇 22
略年譜 24
主な出品資料 [巻末]

中原中也と富永太郎展—二つのいのちの火花
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2007.4.21 64p B5判
頒価 900円



開催にあたって 1
中原中也と富永太郎 (中村稔) 2
富永太郎の登音 (樋口寛) 3
フランス詩の絆—太郎と中也 (宇佐美斉) 4
口絵 5
第1部 富永太郎と中原中也—出会いまで 17
第2部 二つのいのちの火花
—dégout (嫌悪) と amitié (友情) の日々 33
第3部 中原中也・詩の世界 43
スポット『山羊の歌』 49

スポット 中原中也と宮沢賢治 53
スポット 大岡昇平の中也、太郎研究・評伝 61
解説(中原豊)
富永太郎略年譜 62
中原中也略年譜 63
主な出品資料 64
出品・協力者 [巻末]

無限大の宇宙—埴谷雄高『死霊』展
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2007.10.6 64p B5判
頒価 900円
表紙デザイン・司修



開催にあたって [巻頭]
埴谷雄高『死霊』の現代性 (松本健一) 3
『死霊』の魅力 (秋山駿) 4
北斗七星 (司修) 6
序章 1909-1945 7
死霊 1946-1997 21
死霊一〜四章 24
死霊中断 29
死霊五章 37
精神のリレー 41
魂の同質性—武田泰淳と大岡昇平 41
弟子—島尾敏雄、井上光晴、高橋和巳 42
浜名湖会 44
死霊六〜八章 45
死霊九章 53
愛用の品々 58
井の頭公園にて 1978〜1983—埴谷雄高撮影写真— 60
『死霊』の登場人物 62
主な出品資料 63
出品者・協力者 64
略年譜 [巻末折込]

生誕 80年 澁澤龍彦回顧展 ここちよいサロン
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2008.4.26 64p B5判
頒価 900円



開催にあたって [巻頭]
篠山紀信撮影「澁澤龍彦邸の時間と空間 (居間)」 [巻頭折込]
プロローグ・澁澤龍彦というサロン 1
第1部 客間の主人の少年時代 2
第2部 魔的なものたちの来訪 18
第3部 澁澤サロンの客人 26
第4部 時空の彼方へ 42
澁澤龍彦回顧 澁澤さんのこと (金井美恵子) 60
「澁澤さん」(巖谷國士) 61
略年譜 62
主な出品資料 64
出品者・協力者 [巻末]

堀田善衛展 スタジオジブリが描く乱世。
財団法人神奈川文学振興会、スタジオジブリ編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2008.10.4 64p B5判
頒価 900円
表紙デザイン・小松季弘



開催にあたって [巻頭]
堀田善衛の背景 (鶴見俊輔) 3
日記と赤ワイン (林京子) 5
第1部 堀田善衛が描く乱世。
I 乱世を生きる (紅野謙介) 7
II 乱世をみつめる (紅野謙介) 37
Joshie Hotta GOYA への道 50
Joshie Hotta Spain Life 55
未来からの挨拶 57
第2部 スタジオジブリが描く乱世。
スタジオジブリと堀田善衛 28
堀田善衛作品のアニメーション映画化を構想するにあたって (宮崎吾朗) 34
堀田善衛年譜 58
主な出品資料 64
出品・協力者 [巻末]

森鷗外展—近代の扉をひらく
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2009.4.25 64p B5判
頒価 900円



開催にあたって 2
たぐいまれな巨人森鷗外 (加賀乙彦) 4
小品「棧橋」に描かれた横浜港 (川本三郎) 6
近代詩の創始者としても (高橋睦郎) 10
口絵
第1部 横浜からの出航 16
第2部 獅子奮迅 26
第3部 現代への遺言 42
部門解説 (小泉浩一郎)
私の森鷗外 62
出品者・協力者 64
略年譜・主な出品資料 [巻末折込]

生誕 100年記念 図説 中島敦の軌跡
村田秀明編著 中島敦の会編
財団法人神奈川文学振興会編集協力
中島敦の会
2009.5.5 64p A4判
頒価 1,000円



巻頭言 (紀田順一郎) 1
第1部 誕生から大学卒業まで 2
第2部 横浜時代 12
第3部 南洋時代 33
第4部 世田谷時代 39
父・田人作成「中島敦年譜」 64
資料提供協力 [巻末]

神奈川近代文学館開館 25周年記念 大乱歩展
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2009.10.3 72p B5判
頒価 1,000円



江戸川乱歩への照明 (紀田順一郎) 1
乱歩になりたい (高橋克彦) 2
江戸川乱歩の少年もの (戸川安宣) 3
大乱歩展に期待する (平井憲太郎) 4
口絵 5
I 乱歩の軌跡 17
1 活字を愛する少年 作家以前の時代 18
2 うつし世はゆめ デビュー、黄金時代、戦時下の発禁 26
3 幻影の城主 戦後の活躍 41
II 怪人二十面相と少年探偵団 55
III 蔵の中へ 63
部門解説 (藤井淑禎)
主な出品資料 70
出品者・協力者 72
略年譜 [巻末折込]

城山三郎展—昭和の旅人—
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2010.4.24 64p B5判
頒価 900円



開催にあたって 2
口絵 5
第1部 大義の末—城山三郎の原点 11
第2部 組織と人間—城山三郎の世界 29
第3部 幸福は花びらのごとく 53
部門解説 (澤地久枝)
「歴史」への疑念—作家・城山三郎の誕生 (内橋克人) 44
拝啓城山三郎様 (佐高信) 60
出品者・協力者 64
略年譜・主な出品資料 [巻末折込]

開高健の世界
NPO 法人開高健記念会、財団法人神奈川文学振興会編
構成・三村淳
NPO 法人開高健記念会
2010.6.12 88p B5判
頒価 1,000円
※目次無し



開催にあたって (坂本忠雄) 2
焼け跡での出発から文壇登場まで 1930〜1959 3
「開高文学の魅力」(佐野真一) 4
青い月曜日【大阪時代】 5
スポット① 詩人・牧羊子 15
コピーライター・開高健 16
芥川賞受賞 20
ベトナム体験と「闇」シリーズ 1960〜1973 27
俺はユウレイやないで——。(永山義高) 28
私の大航海時代 29

オリンピックの東京から…………… 33
 南ベトナムの 100 日 …………… 36
 ベトナムにこだわり続けて…………… 41
 「輝ける闇」と「夏の闇」…………… 43
 スポット②『人とこの世界』…………… 52
 より遠く、より深く 1974～1989…………… 55
 行き着くところ（奥本大三郎）…………… 56
 永遠としての釣り…………… 57
 食と文学…………… 66
 「花終る闇」と珠玉の作品群 …………… 70
 夢はモンゴルを… …………… 74
 モノたちの世界…………… 77
 開高健記念会の日常活動と現状（坂本忠雄）…………… 78
 モノたちの世界…………… 80
 スポット③ 海辺の生活―茅ヶ崎の家と家族 …………… 82
 略年譜…………… 86
 資料・写真協力…………… 88

国民読書年・信州岩波講座によせて
 露伴・茂吉・寅彦と小林勇～作家・
 学者とある出版人の歩み～
 財団法人神奈川文学振興会、須坂市
 立博物館編
 須坂市立博物館
 2010.8.3 28p A4 判
 頒価 900 円



開催にあたって……………〔巻頭〕
 小林勇氏のことども（斎藤茂太）…………… 1
 第1部 露伴・茂吉・寅彦と小林勇…………… 2
 I 小林の生い立ちと岩波書店…………… 2
 II 鐵塔書院の創立…………… 4
 （カラー図版）…………… 9
 III 戦時下で…………… 21
 IV 戦後文学の復興とともに…………… 24
 第2部 文人・冬青小林勇…………… 26
 略年譜…………… 28
 主な展示資料／展示・協力者……………〔巻末〕

ラフカディオ・ハーン
 小泉八雲展 一生誕 160 年 来日 120 年
 財団法人神奈川文学振興会編
 県立神奈川近代文学館、財団法人神
 奈川文学振興会
 2010.10.2 64p B5 判
 頒価 900 円



開催にあたって…………… 2
 ハーンは横浜で何を見、何に惹かれ
 たか（平川祐弘）…………… 4
 酌みつくせないハーン（山田太一）…………… 5
 小泉八雲の目と耳（荒俣宏）…………… 6
 プロローグ 特派員ラフカディオ・ハーン、横浜上陸。 …… 7
 第1部 来日まで…………… 21
 第2部 日本の面影をたずねて―松江・熊本・神戸時代… 29
 第3部 旅の終わり 東京時代…………… 37
 第4部 小泉八雲・怪談 Kwaidan の世界 …………… 49
 エピローグ 現在、そして未来へ…………… 59
 ～今に生きる小泉八雲～…………… 59
 部門解説（辻原登、小泉凡）…………… 62
 主な出品資料…………… 62
 出品者・協力者…………… 64
 略年譜、「小泉八雲 日本での足どり」〔地図〕〔巻末折込〕

没後 15 年遠藤周作展―21 世紀の生命のために―
 公益財団法人神奈川文学振興会編
 県立神奈川近代文学館、公益財団法
 人神奈川文学振興会
 2011.4.23 64p B5 判
 頒価 900 円



開催にあたって…………… 2
 巻頭言 遠藤周作の現代性…………… 4
 （富岡幸一郎）…………… 4
 闘う作家遠藤周作をめぐって…………… 8
 （佐藤泰正）…………… 8
 遠藤周作さんと私（加賀乙彦）… 9
 遠藤周作の草稿…………… 6
 口絵…………… 10
 プロローグ・「沈黙」―「永遠の宿題」としての書…………… 11
 第1部 母なるもの…………… 17
 第2部 西洋の文学と神…………… 21
 第3部 生命の河へ―遠藤文学の展開…………… 35
 エピローグ・「深い河」の世界―宗教多元主義と現代… 55
 部門解説（加藤宗哉、富岡幸一郎）…………… 64
 出品者・協力者…………… 64
 略年譜／主な出品資料……………〔巻末折込〕

安野光雅美術館開館 10 周年記念
 安野光雅展―アンデルセンと旅して
 公益財団法人神奈川文学振興会編
 県立神奈川近代文学館、公益財団
 法人神奈川文学振興会
 2011.8.6 48p B5 判変型
 頒価 700 円
 ※目次無し



開催にあたって…………… 2
 口絵…………… 3
 第1部 安野光雅とアンデルセン…………… 4
 第2部 デンマークへの旅…………… 18
 第3部 「即興詩人」に恋して…………… 26
 第4部 文語文のすゝめ…………… 38
 略年譜…………… 47
 主な出品資料…………… 48
 出品者・協力者……………〔巻末〕

没後 60 年記念展 いま輝く林芙美子
 公益財団法人神奈川文学振興会編
 県立神奈川近代文学館、公益財団法
 人神奈川文学振興会
 2011.10.1 64p B5 判
 頒価 900 円



開催にあたって…………… 2
 いまなぜ林芙美子か（川本三郎）… 4
 恋の子旅の子（中沢けい）…………… 22
 林芙美子と巴里（今川英子）…………… 30
 林芙美子の児童文学（上笠一郎）…………… 38
 口絵…………… 5
 第1部 旅する芙美子（解説・川本三郎、太田治子）… 19
 第2部 林芙美子の作品世界…………… 51
 慈悲の作品（太田治子）…………… 52
 スポット…………… 11
 芙美子のミニギャラリー（太田治子）…………… 11
 映画・演劇の世界（川本三郎）…………… 14
 こだわりの栖…………… 16
 芙美子と神奈川 / 泰と芙美子…………… 50
 主な出品資料…………… 63

出品者・協力者…………… 64
 略年譜／「旅する芙美子 MAP1927 - 1951」〔地図〕…
 〔巻末折込〕

茂吉再生 一生誕 130 年齋藤茂吉展
 公益財団法人神奈川文学振興会編
 県立神奈川近代文学館、公益財団法
 人神奈川文学振興会
 2012.4.28 64p B5 判
 頒価 900 円



開催にあたって…………… 1
 巻頭言 茂吉再生―困難を超える…………… 3
 歌の力（三枝昂之）…………… 3
 茂吉と食べ物（尾崎左永子）…………… 6
 齋藤茂吉とその弟子たち（岡井隆）…………… 11
 齋藤家のユーマア（齋藤由香）…………… 62
 生を写す歌―『赤光』『あらたま』の衝撃（三枝昂之）… 4
 口絵…………… 7
 第1部 歌との出会い…………… 13
 第2部 生を詠う…………… 19
 第3部 茂吉再生…………… 45
 部門解説（三枝昂之）…………… 64
 出品者・協力者…………… 64
 齋藤茂吉略年譜／主な出品資料……………〔巻末折込〕

寺村輝夫『ぼくは王さま』展
 公益財団法人神奈川文学振興会編
 県立神奈川近代文学館、公益財団法
 人神奈川文学振興会
 2012.8.11 48p B5 判変型
 頒価 700 円
 ※目次無し



開催にあたって…………… 2
 第1部「ぼくは王さま」の世界…………… 3
 王さま誕生…………… 4
 いろいろ王さま…………… 13
 第2部 寺村さんでどんな人？…………… 26
 軍国少年から童話作家へ…………… 26
 多彩な作品群…………… 29
 アフリカと動物と…………… 42
 略年譜…………… 47
 出品者・協力者……………〔巻末〕

生誕 140 年記念 島崎藤村展
 公益財団法人神奈川文学振興会編
 県立神奈川近代文学館、公益財団法
 人神奈川文学振興会
 2012.10.6 64p 26cm
 頒価 900 円



開催にあたって…………… 2
 口絵…………… 4
 藤村の『夜明け前』をめぐって…………… 7
 （加賀乙彦）…………… 7
 パリの藤村（鹿島茂）…………… 12
 現場の迫力（三木卓）…………… 16
 第1部 宿命とのたたかい 藤村の前半生…………… 19
 第2部 再生の誓い 藤村の後半生 …………… 39
 第3部 藤村詩鑑賞…………… 55
 スポット…………… 29
 藤村と神奈川…………… 29
 藤村と芸術の都・パリ…………… 42

藤村と旅①―山陰土産…………… 50
 藤村と旅②―南米行き…………… 51
 主な出品資料…………… 61
 略年譜…………… 62
 出品者・協力者…………… 64

井上ひさし展―21 世紀の君たちに―
 公益財団法人神奈川文学振興会編
 県立神奈川近代文学館、公益財団法人
 神奈川文学振興会
 2013.4.20 112p A5 判
 頒価 1,000 円



開催にあたって…………… 2
 [巻頭言]（松山巖）…………… 4
 第1部 井上ひさしクロニクル…………… 6
 作家となるまで…………… 32
 第2部 ユートピアへの旅…………… 82
 第3部 「中継走者」として 21 世紀の君たちに …… 82
 解説（松山巖）…………… 110
 主な出品資料…………… 112
 出品者・協力者…………… 112
 略年譜／戯曲初演一覧……………〔巻末折込〕

賢治＋司修 注文の多い展覧会
 公益財団法人神奈川文学振興会編
 県立神奈川近代文学館、公益財団法人神
 奈川文学振興会
 2013.8.10 104p A6 判
 頒価 500 円



開催にあたって…………… 3
 口絵…………… 5
 第1部 賢治童話の宇宙 by 司修…………… 6
 異界との交信 賢治との不可思議世界…………… 8
 [スポット] 賢治との出会い…………… 35
 カルボナード島越駅（司修）…………… 41
 鎮魂の祈り イーハトーヴォの人びとによせて…………… 44
 第2部 司修の絵本の世界…………… 62
 子どもへのまなざし…………… 64
 大人も楽しむ「えものがたり」…………… 82
 [スポット] 司修・旅のスケッチ帖…………… 98
 略年譜…………… 100
 原画出品作品リスト・その他の出品資料…………… 102
 出品者・協力者…………… 104

生誕 140 年記念 泉鏡花展―もの
 がたりの水脈―
 公益財団法人神奈川文学振興会編
 県立神奈川近代文学館、公益財団法
 人神奈川文学振興会
 2013.10.5 64p B5 判
 頒価 900 円
 表紙題字・金子國義



開催にあたって…………… 2
 泉鏡花遺品と慶應義塾図書館…………… 3
 （田村俊作）…………… 3
 幻想と実感（蜂飼耳）…………… 47
 鏡花と鉄道（田中励儀）…………… 52
 第1部 ものがたりの源泉（一部カラー図版）…………… 5
 第2部 ものがたりの水脈（一部カラー図版）…………… 21
 第3部 海と山のトボスー「春昼」「草迷宮」を読む… 55

スポット
鏡花本 装幀の美…………… 32
鏡花の横顔…………… 50
部門解説、各章解説（松村友視）
鏡花豆子ゆかり地図…………… 63
主な出品資料…………… 64
出品者・協力者……………〔巻末〕

目録

◆県立神奈川近代文学館収蔵文庫目録 1～19

1 尾崎一雄文庫目録
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
1986.3.28 229p B5判
頒価 5,000円



尾崎一雄文庫目録に寄せて
（小田切進）……………〔巻頭〕

2 獅子文六文庫目録
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
1986.12.13 69p B5判
頒価 2,000円

獅子文六文庫について（小田切進）……………〔巻頭〕

3 大野林火文庫目録
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
1987.3.10 44p B5判
頒価 1,700円

はじめに（小田切進）……………〔巻頭〕

4 木下杢太郎文庫目録
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
1988.3.25 179p B5判
頒価 5,000円

はじめに（小田切進）……………〔巻頭〕

5 福本和夫文庫目録
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
1989.3.25 120p B5判
頒価 3,500円

福本和夫文庫について（小田切進）……………〔巻頭〕

6 藤森成吉文庫目録
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
1990.3.25 98p B5判
頒価 3,000円

藤森成吉文庫について（小田切進）……………〔巻頭〕

7 高木健夫文庫目録
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
1992.3.25 352p B5判
頒価 9,000円

高木健夫文庫について（小田切進）……………〔巻頭〕

8 添田啞蟬坊・知道文庫目録
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
1994.7.1 249p B5判
頒価 7,000円

9 中川孝収集実篤文庫目録
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
1998.4.28 622p B5判
頒価 5,500円

10 中里恒子文庫目録
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
1999.4.5 258p B5判
頒価 2,500円

11 中村光夫文庫目録
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2000.7.12 133p B5判
頒価 1,500円

12 近藤東文庫目録
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2002.3.25 421p B5判
頒価 3,000円

13 鈴木三重吉・赤い鳥文庫目録
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2003.3.25 73p B5判
頒価 700円

14 楠本憲吉文庫目録
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2005.3.25 176p B5判
頒価 1,500円

15 藤田圭雄文庫目録〈特別資料〉
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2006.3.25 68p B5判
頒価 700円

16 滑川道夫文庫目録-1〈特別資料・雑誌〉
財団法人神奈川文学振興会編

県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2007.3.25 224p B5判
頒価 2,500円

17 滑川道夫文庫目録-2〈図書〉
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2008.3.25 200p B5判
頒価 2,500円

18 那須辰造文庫目録
公益財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会
2012.3.10 169p B5判

19 立原正秋文庫目録
公益財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会
2014.3.25 36p B5判

※

県立神奈川近代文学館収蔵新聞・雑誌目録 1995 年版
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
1996.3.25 ,866p A4判
頒価 2,500円
※目次無し

※

◆県立神奈川近代文学館収蔵特別資料リスト

〔1〕1995～1996 年度受入
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
1997.7.25 152p B5判
頒価 500円

〔2〕1994・1997 年度受入
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
1998.9.15 168p B5判
頒価 500円

〔3〕1993・1998 年度受入
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
1999.7.15 104p B5判
頒価 400円

〔4〕1992・1999 年度受入
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
2000.7.10 105p B5判
頒価 400円

〔5〕1991・2000 年度受入
財団法人神奈川文学振興会編

財団法人神奈川文学振興会
2001.7.10 125p B5判
頒価 400円

〔6〕1990・2001 年度受入
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
2002.7.10 160p B5判
頒価 500円

〔7〕2002 年度受入
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
2003.7.10 1348p B5判
頒価 900円

〔8〕1983～1989 年度受入
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
2004.7.10 148p B5判
頒価 500円

※

DVD-ROM 版中島敦文庫直筆資料画像データベース
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会、県立神奈川近代文学館、紀伊
國屋書店
2009.6.13 DVD-ROM 1枚＋利用ガイド 7p
12cm (DVD) ,19cm (利用ガイド)
頒価 63,000円

研究誌等

神奈川近代文学年表 1853～1952
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
1985.2.14 16p B5判
頒価 200円 ※目次無し、「近代文学—〇〇年と神奈川」
展図録の抜刷

神奈川近代文学年表 文学者たちの神奈川〈明治編〉
財団法人神奈川文学振興会編
財団法人神奈川文学振興会
1991.2.15 71p B5判
頒価 700円

『神奈川近代文学年表・文学者たちの神奈川』について
（小田切進）…………… 3
神奈川近代文学年表〈明治編〉…………… 6
地名索引…………… 68
人名索引…………… 71
あとがき（小山文雄）…………… 65

神奈川近代文学年表 文学者たちの神奈川
〈大正・昭和前期編〉
財団法人神奈川文学振興会編
県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
1995.3.25 205p B5判
頒価 1,300円

神奈川近代文学年表…………… 4
大正編…………… 4
昭和前期編…………… 78
地名索引…………… 191

刊行物等

人名索引…………… 196
写真集長谷川時雨―生誕 130 年
尾形明子、財団法人神奈川文学振興会編
NPO 現代女性文化研究所
2010.6.5 76p A5 判（GJK ブックレット 7）

長谷川時雨人と作品（尾形明子）…………… 3
I 幼年時代…………… 9
II 文学修業時代…………… 17
III 劇作と美人伝の時代…………… 23
IV 「女人芸術」の時代…………… 49
V 「輝ク」の時代…………… 61
あとがき（半田典子）…………… 70
長谷川時雨略年譜…………… 72

作品

芸亭の櫻

中野孝次著

財団法人神奈川文学振興会

2005.3.31 31p A5 判

芸亭の桜…………… 2
文学の殿堂…………… 6
就任のことば…………… 7
文学館これまでとこれから…………… 9
新春随想…………… 12
年の初めに思う…………… 14
横浜の顔、日本の顔…………… 16
紀元二千年の新春に…………… 18
喜寿の春…………… 20
〈酒〉…………… 22
神奈川近代文学館の二十年…………… 24
中野孝次と神奈川文学振興会・神奈川近代文学館………… 26
〈事務局への通信〉…………… 31

複製

神奈川近代文学館蔵 夏目漱石落款集成

財団法人神奈川文学振興会編

雄松堂書店

2007.12.9 58,9p A4 判

創作集

俳句その魅力展記念俳句大会作品集

〔財団法人神奈川文学振興会編〕

県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会

2006.10.20 39p B5 判

※目次無し

館報

神奈川近代文学館

神奈川文学振興会

1983.7 ～年 4 回刊 B5 判

頒価 100 円

第 1 号 1983.7.10

〈尾崎文庫〉二万一千点を受贈…………… 1
神奈川近代文学館の構想（小田切進）…………… 2
館の展示設備（佐佐木朝登）…………… 3
独自の資料整理基準案まとまる…………… 4

気軽に訪ねたい（安西篤子）…………… 5
〈神奈川とわたし〉故郷としての横浜（磯田光一）………… 5
追悼 尾崎一雄名誉館長
残る悔い（小田切進）…………… 6
尾崎さんと碁（青木茂）…………… 6
立原正秋の原稿（岡松和夫）…………… 7
獅子先生の創作ノート（高野昭）…………… 7
資料保全設備の全容…………… 8
館への期待（川添猛）…………… 9
館の歩み（昭和 54 年 9 月 10 日～昭和 58 年 5 月末）… 10

第 2 号 1983.12.5

木下柰太郎資料一括寄贈される…………… 1
〈随筆〉大倉山公園の図書館（庄野潤三）…………… 3
〈神奈川とわたし〉私の卒業証書（野口富士男）………… 3
神奈川と文学
魯文と窟蠅蟻庵（前田愛）…………… 4
五雲亭貞秀あるいは横浜絵（酒井忠康）…………… 5
神奈川の大衆作家（1）（尾崎秀樹）…………… 6
〈寄贈資料紹介〉尾崎一雄文庫（1）「あの日 この日」
原稿三千枚など…………… 7

第 3 号 1984.3.15

10 月 14 日に正式開館（予定）…………… 1
〈随筆〉らんらんとした目（城山三郎）…………… 2
〈神奈川とわたし〉むかし横浜（中里恒子）…………… 2
岸田吟香と横浜（巖谷大四）…………… 3
神奈川と文学
神奈川自由民権運動と透谷（色川大吉）…………… 4
透谷文学の出発点（小沢勝美）…………… 4
神奈川の大衆作家（2）（尾崎秀樹）…………… 6
〈寄贈資料紹介〉尾崎一雄文庫（2）直哉の貴重文庫 … 7

第 4 号 1984.6.10

館長に小田切文学振興会理事長が就任…………… 1
〈随筆〉歌びと（馬場あき子）…………… 2
〈神奈川とわたし〉鎌倉・川崎の土地っ子（藤田親昌） 2
文学史の実験（磯田光一）…………… 3
神奈川と「白樺」の人びと（紅野敏郎）…………… 4
牧野英二と岩越昌三（保昌正夫）…………… 5
ワーグマンと高橋由一の出会い（青木茂）…………… 6
尾崎一雄文庫（3）雑誌コレクションから…………… 7
国際ペンの代表来館…………… 8

第 5 号 1984.10.10

10 月 14 日に記念展で開館…………… 1
神奈川の誇り（小田切進）…………… 2
開館にあたって（長洲一二）…………… 2
開館に寄せて（川口松太郎、稲垣達郎、井上靖、
永井龍男、中村光夫、瀬沼茂樹、大岡昇平、藤田圭雄、
山本健吉、中里恒子、滑川道夫、遠山茂樹、古沢太穂、
和田茂樹、小島寅雄、河合正一、小山弘志、杉本三木雄、
庄野潤三、土田直鎮、中野孝次、三好行雄、細郷道一、
安西篤子、尾崎秀樹、青木雨彦、島崎緑二）…………… 3
開館記念 近代文学 100 年と神奈川展 出品物ア・ラ・
カルト…………… 8
神奈川県ゆかりの文学者（Ⅱ）……………折込

第 6 号 1984.12.10

没後十五年「獅子文六展」開く…………… 1
公立民営で実現（小田切進）…………… 2
〈随筆〉谷崎と神奈川（河野多恵子）…………… 3
〈神奈川とわたし〉神奈川文化雑感（松信泰輔）………… 3
獅子文六展特集
豊雄と文六（河盛好藏）…………… 4
棗屋の岩田先生（岸田今日子）…………… 4
滞欧時代の観劇ノート（藤木宏幸）…………… 5

獅子展の観どころ…………… 6
〈ゆかりの図書コーナー〉
『福田正夫全詩集』のこと（福田美鈴）…………… 7
神奈川の作家の肖像―『鎌倉案内』ほか（金子昌夫）… 7

第 7 号 1985.2.25

高木健夫文庫を一括受贈…………… 1
〈随想〉東と西（阿部昭）…………… 2
〈神奈川とわたし〉文学者と郷土色（松崎鉄之介）………… 2
〈文学館を訪ねて〉（飯澤匡、脇坂茂樹、大森黎、岩田幸
子、中村文也）…………… 3
〈所蔵資料紹介〉神西清ノート（中村真一郎）…………… 4
〈神奈川と文学〉明治の山手（小玉晃一）…………… 5
高木文庫の寄贈をよるこぶ（青木雨彦）…………… 6
〈所蔵資料紹介〉独歩から信子へ未発表書簡 2 通………… 7

第 8 号 1985.4.25

文学・芸術を網羅する千三百点…………… 1
〈随想〉武者小路さんの『ある青年の夢』（草野心平）… 2
〈神奈川とわたし〉鎌倉・大船合併（三谷光雄）…………… 2
〈文学館を訪ねて〉（川西政明、斎藤五郎、谷崎昭男、
鈴木隆）…………… 3
武者小路実篤と白樺美術展特集
先駆者としての武者小路実篤（中野孝次）…………… 4
岸田劉生の鶴沼時代と「白樺」（匠秀夫）…………… 4
美術と文学者（黒井千次）…………… 5
展覧会場から…………… 6

第 9 号 1985.8.5

生誕 100 年木下柰太郎展を開催…………… 1
〈随想〉鷗外・茂吉・柰太郎（加藤周一）…………… 2
〈神奈川とわたし〉文学の航跡（野上義一）…………… 2
〈所蔵資料紹介〉木下柰太郎文庫（富士川英郎）…………… 3
木下柰太郎展特集
贅言 木下柰太郎（稲垣達郎）…………… 4
窓の外の入日雲（平川祐弘）…………… 4
恩師 木下柰太郎先生（小堀杏奴）…………… 5
高見順展特集
高見順展の構想（中村真一郎）…………… 6
機転ある処置（渋川驍）…………… 7
書物への“愛”（吉原幸子）…………… 7
会場から（柰太郎・高見展）…………… 6

第 10 号 1985.10.15

日本の子どもの文学展を開催…………… 1
〈随想〉木下柰太郎展を見て（加賀乙彦）…………… 2
〈神奈川とわたし〉ふるさと鎌倉（川端香男里）…………… 2
〈文学館を訪ねて〉（海老原光義、中西道子、小坂三郎、
磯野祥子）…………… 3

日本の子どもの文学展特集

創意をこめた構想（関英雄）…………… 4
女性と児童文学と（上笙一郎）…………… 4
神奈川と子どもの文学（長崎源之助）…………… 5
展覧会場から…………… 6

第 11 号 1986.1.5

二月二十七日から牧野信一展…………… 1
雑誌「プロ芸」のこと（本多秋五）…………… 2
〈随想〉人の暮し（田村隆一）…………… 3
〈文学館を訪ねて〉
去りがたい思い（大原富枝）…………… 3
高見順展を観て（山内静夫）…………… 3
追悼・川崎長太郎 匿名批評の頃（渋川驍）…………… 4
追悼・和田傳「沃土」のこと（小澤彰）…………… 4
〈所蔵資料紹介〉「痴人の愛」の原稿（千葉俊二）………… 5
牧野信一展特集

古さと新しさと（磯田光一）…………… 6
牧野信一展へのノート（保昌正夫）…………… 6
牧野信一と小田原図書館…………… 7

第 12 号 1986.4.1

尾崎一雄をしのぶ豪華な展観…………… 1
尾崎一雄展特集
尾崎一雄展開催によせて（永井龍男、丹羽文雄、
円地文子、山本健吉、藤枝静男、本多秋五、
大岡昇平、安岡章太郎、紅野敏郎、中野孝次）……… 2
尾崎一雄と江戸文学（稲垣達郎）…………… 5
豪華な目録―尾崎文庫目録の刊行に寄せて（小田切進）… 5
〈文学館を訪ねて〉信一と一平（池内紀）…………… 6
〈神奈川とわたし〉あの野の光（春名徹）…………… 6
〈館の文庫紹介〉貴重な十五の文庫…………… 7

第 13 号 1986.7.25

芥川「蜘蛛の糸」原稿を初公開…………… 1
〈赤い鳥〉の森展特集
〈随想〉不死鳥の「赤い鳥」（与田準一）…………… 2
展覧会開催に寄せて（福田清人、藤田圭雄、滑川道夫、
福井研介、山本太郎、松谷みよ子）…………… 3
その画期的意義（関英雄）…………… 4
三重吉と「赤い鳥」（桑原三郎）…………… 4
「赤い鳥」の現代性（鳥越信）…………… 5
稀有な目録 尾崎文庫目録を見て（大橋健三郎）…………… 6
受贈資料紹介…………… 6
〈館の文庫紹介〉福本和夫文庫（1）…………… 7
横浜に新しい名所が誕生…………… 8
尾崎一雄展盛況裡に終わる…………… 8

第 14 号 1986.10.25

大衆文学展「よみがえるヒーローたち」始まる…………… 1
大衆文学展特集
神奈川ならではの（井上靖）…………… 2
わたしたちの夢（村上元三）…………… 2
大衆文学と現代（瀬沼茂樹）…………… 2
明治の「家庭小説」のヒロイン（中村真一郎）…………… 3
鞍馬天狗（小松伸六）…………… 3
わたしの好きな大衆文学作品（アンケート）…………… 4
大衆文学展にあたって（尾崎秀樹）…………… 6
〈神奈川とわたし〉二つの港町と松竹大船（鈴木和年）… 6
〈館の文庫紹介〉福本和夫文庫（2）…………… 7

第 15 号 1987.1.5

所蔵資料二十二万二千点に…………… 1
〈随想〉横浜の文化的感覚（中里恒子）…………… 2
〈随想〉近代文学館のある町（益田義信）…………… 3
〈神奈川とわたし〉私の神奈川（宮原昭夫）…………… 4
〈文学館を訪ねて〉
大衆文学展を見て（戸川幸夫）…………… 4
感無量の展観（平井隆太郎）…………… 4
〈ゆかりの図書コーナー〉
いきる著者の眼（加藤衛）…………… 5
肉親ならではの労作（祖父江昭二）…………… 5
〈所蔵資料紹介〉「蜘蛛の糸」の原稿（三好行雄）…………… 6
〈館の文庫紹介〉那須辰造文庫…………… 7

第 16 号 1987.4.1

川端康成展 書画等々 850 点で始まる…………… 1
川端康成展特集
川端文学のめざしたもの（山本健吉）…………… 2
川端さんのこと（佐多稲子）…………… 2
川端文学の魅力（瀬沼茂樹）…………… 3
川端康成と現代・未来（長谷川泉）…………… 3
世界のなかの川端文学（川端香男里）…………… 4
神奈川と川端康成（平山城児）…………… 5

わたしの好きな川端作品（アンケート）…………… 6
追悼・磯田光一理事 大きな柱だった（小田切進）…… 8

第17号 1987.7.1

中川孝収集実篤文庫を一括受贈…………… 1
堀口大學展特集
『月下の一群』（河盛好藏）…………… 2
装幀、挿絵本について（関野準一郎）…………… 2
葉山の堀口先生（團伊玖磨）…………… 2
近代の詩語の根（安藤元雄）…………… 3
先生のお言葉から（高田敏子）…………… 3
耳の詩（飯島耕一）…………… 4
明光照らす（江森國友）…………… 4
ライト・ヴァース（丸谷オ一）…………… 4
〈神奈川とわたし〉文学都市横浜と小田原（内田四方蔵） 6
〈文学館を訪ねて〉
絵になる光景（武者小路辰子）…………… 6
川端康成展を観て（宮坂覺）…………… 6
〈館の文庫紹介〉高木健夫文庫…………… 7

第18号 1987.10.15

空前の規模の漱石展始まる…………… 1
夏目漱石展特集
漱石の書画（瀬沼茂樹）…………… 2
漱石と現在（三好行雄）…………… 2
漱石と神奈川二題（石崎等）…………… 2
漱石と鎌倉（大岡昇平）…………… 3
漱石と出会う（杉本苑子、三田誠広、三浦雅士）…… 4
漱石と禅（井上禪定）…………… 5
〈文学館を訪ねて〉…………… 6
貴重な体験（牧羊子）…………… 6
堀口大學展を見て（川口朗）…………… 6
〈神奈川とわたし〉新しい歌枕の宝庫（島田修二）…… 6
〈所蔵資料紹介〉実篤研究の宝庫（大津山国夫）…… 7
追悼・前田愛理理事 意欲的な推進者（小田切進）…… 8

第19号 1988.1.15

〈三浦半島の風土と抒情〉神奈川文学散歩展ひらく…… 1
三浦半島の風土と抒情展特集
記憶と断絶（永井路子）…………… 2
三浦半島と北原白秋（佐佐木幸綱）…………… 2
白秋と三崎を結んだ人—公田連太郎—（野上義一）… 3
三浦半島の詩界（長島三芳）…………… 3
明治の逗子（小玉兎一）…………… 4
牧水、三浦半島の「時」（小山文雄）…………… 4
横須賀とわたし（川崎洋）…………… 5
〈文学館を訪ねて〉
漱石展を見る（村上光彦）…………… 6
現代の高校生気質に（平塚敬一）…………… 6
〈神奈川とわたし〉奇妙な安心感（村上龍）…………… 6
〈館の文庫紹介〉添田啞蟬坊・知道文庫（1）…………… 7

第20号 1988.4.15

太宰治展、かつてない規模で…………… 1
太宰治展特集
なぜ今日、太宰治展か（奥野健男）…………… 2
新風土記叢書『津軽』について（相馬正一）…………… 2
恋と革命（矢代静一）…………… 3
「人間失格」について（野原一夫）…………… 3
「晩年」「人間失格」（増田みず子）…………… 4
「走れメロス」について（中沢けい）…………… 4
〈館の文庫紹介〉添田啞蟬坊・知道文庫（2）…………… 6
〈文学館を訪ねて〉
きめ細かな展示（槌田満文）…………… 7
三浦半島展を見て（鈴木幸子）…………… 7

第21号 1988.7.15

〈湘南の光と影〉神奈川文学散歩展を7月23日から… 1
神奈川県文学散歩展特集
湘南の光と影—友ありて（小山文雄）…………… 2
ふるさとは海岸（菊村到）…………… 2
東家と《鶴沼文人村》（宮坂覺）…………… 3
辻堂桜花園通り（山田宗睦）…………… 4
会場から…………… 5
尽きない興味—木下奎太郎文庫目録によせて
（新田義之）…………… 6
〈神奈川とわたし〉横浜駅東口界限（郷静子）…………… 6
〈所蔵資料紹介〉戦後新劇史の基本資料（藤木宏幸）… 7

第22号 1988.10.15

堀辰雄展、新たな構成で展観…………… 1
堀辰雄展特集
全体の構成（中村真一郎）…………… 2
「驢馬」の頃の堀辰雄（佐多稲子）…………… 2
「雪の上の足跡」について（佐々木基一）…………… 3
美しい言葉の魅力（小久保実）…………… 3
三つの窓（鈴木貞美）…………… 4
「曠野」について（池澤夏樹）…………… 4
病床の日々（堀多恵子）…………… 5
〈文学館を訪ねて〉
川田順の思い出（鈴鹿俊子）…………… 6
横浜空想旅行（国松春紀）…………… 6
〈神奈川とわたし〉かながわとの縁（山中恒）…………… 6
〈所蔵資料紹介〉高橋和巳関係資料について（川西政明）… 7
中村光夫常務理事の死を悼む 館建設の大きな力に
（小田切進）…………… 8

第23号 1989.1.15

中村光夫文庫を受贈、記念室に…………… 1
新しい博物館・美術館（粟津潔）…………… 2
〈神奈川とわたし〉海への思い（尾崎左永子）…………… 3
〈文学館を訪ねて〉
海に見える文学館（杉山平一）…………… 4
堀辰雄と折口先生（岩城希伊子）…………… 4
若い感性を磨くために（島田一）…………… 4
武井武雄先生のお墓（飯沢匡）…………… 4
〈所蔵資料紹介〉虫食いのある証文（中島国彦）…………… 6
〈館の文庫紹介〉中西鳥学の基盤（大悟法進）…………… 7

第24号 1989.4.15

中里恒子展—物語のこころ—開く…………… 1
中里恒子展特集
持続ということ（竹西寛子）…………… 2
美德と奔放（高橋英夫）…………… 2
中里さんと私（宇野千代）…………… 3
中里さんの詩心（阿部昭）…………… 3
私小説的素材と物語的発想のあいだ（三枝和子）…… 4
美しい晩年（古屋健三）…………… 4
〈文学館を訪ねて〉
我がフランス山讃歌（ゆりはじめ）…………… 6
メディアを読む場所（川崎賢子）…………… 6
〈神奈川とわたし〉横浜の下町（北村太郎）…………… 6
〈館の文庫紹介〉詩人の書冊—近藤東文庫の一瞥
（伊藤信吉）…………… 7

第25号 1989.7.15

〈横浜—文学の港〉神奈川文学散歩展を7月22日から 1
〈横浜—文学の港〉展特集
ヨコハマの暗と明（内田四方蔵）…………… 2
『海港』ありき（山田今次）…………… 2
思い出の俳人たち（古沢太穂）…………… 3
ヘボンとヨコハマ（高谷道男）…………… 3
ハマッ子作家と海（青木雨彦）…………… 4
水の匂い（岡松和夫）…………… 4

なつかしい風（生島治郎）…………… 4
貴重資料ずらり—『福本和夫文庫目録』によせて
（内海庫一郎）…………… 6
〈神奈川とわたし〉横浜に生れて（野澤節子）…………… 6
〈館の文庫紹介〉二葉亭コレクション—中村光夫文庫に
ついて（十川信介）…………… 7

第26号 1989.10.15

吉川英治展、横浜で初の本格展観…………… 1
吉川英治展特集
横浜での展観に寄せて（尾崎秀樹）…………… 2
かがみ女（杉本苑子）…………… 2
吉川英治先生の絵（杉本健吉）…………… 3
吉川英治先生の伝奇小説と雑新もの（早乙女貢）…… 3
「新・平家」の結び（扇谷正造）…………… 4
「私本太平記」の誕生（松本昭）…………… 4
あべこべ乗車券（吉川文子）…………… 5
〈文学館を訪ねて〉
豊かな資料に魅せられて（竹本員子）…………… 6
横浜の文学館を見に（伊藤完吾）…………… 6
〈神奈川とわたし〉私の原風景としてのハマ（八木義徳）… 6
〈所蔵資料紹介〉北林透馬資料瞥見（石井光太郎）…… 7

第27号 1990.1.15

開館六年目を迎える…………… 1
粋な日本人代表（埴谷雄高）…………… 2
堀辰雄の洋書のこと（中村真一郎）…………… 3
〈神奈川とわたし〉夢の国とは（山本道子）…………… 4
〈文学館を訪ねて〉
中里恒子展を観て（岡畏三郎）…………… 5
横浜偶感（長谷川權）…………… 5
柘目のむこうに（佐藤宗子）…………… 5
山梨県立文学館の開館にあたって（三好行雄）…………… 6
〈所蔵資料紹介〉高野鷹蔵旧蔵書その他（近藤信行）…… 7

第28号 1990.4.15

有馬武郎・有島生馬・里見弴展開く…………… 1
有島武郎・有島生馬・里見弴展特集
因縁（本多秋五）…………… 2
志賀直哉と里見弴（阿川弘之）…………… 2
「一房の葡萄」寸見（山田昭夫）…………… 3
有島武郎とアメリカ（小玉兎一）…………… 3
眼の人、有島生馬（酒井忠康）…………… 4
「或る女」、「海の夫人」（江種満子）…………… 4
有島展の構成（紅野敏郎）…………… 5
〈文学館を訪ねて〉
近代文学と神奈川展を見る（鈴木健次）…………… 6
憧憬と悔恨と（篠崎禮子）…………… 6
〈神奈川とわたし〉第二の故郷（鷹羽狩行）…………… 6
〈所蔵資料紹介〉邦枝文二・子母澤寛の資料
（清原康正）…………… 7

第29号 1990.7.15

ドキュメント昭和の文学 神奈川展…………… 1
ドキュメント昭和の文学展特集
文学青年だった時期（小島信夫）…………… 2
思い出のなかの昭和文学（佐伯彰一）…………… 2
体験という支配者（林京子）…………… 3
証言（澤地久枝）…………… 3
放送での作家（三國一朗）…………… 4
昭和の文学の底力（川西政明）…………… 4
思想形成をたどる資料『藤森成吉文庫目録』によせて
（浦西和彦）…………… 6
〈神奈川とわたし〉三界に家なし（小島直記）…………… 6
〈所蔵資料紹介〉西脇順三郎の晩年の詩稿（新倉俊一）… 7

第30号 1990.10.15

〈海辺のきらめき〉神奈川文学散歩展を10月20日から… 1
小田原・真鶴・湯河原展特集
山嶺の気（小田切秀雄）…………… 2
福田正夫と「民衆」（永田東一郎）…………… 2
小田原好日（北條秀司）…………… 3
白秋の小田原生活（島田修二）…………… 3
小田原の牧野信一（保昌正夫）…………… 3
会えなかった先輩たち（藤田湘子）…………… 4
二人の作家（八木義徳）…………… 5
文学と小田原、真鶴、湯河原（石井富之助）…………… 5
〈神奈川とわたし〉夏の終り（秋元松代）…………… 6
〈文学館を訪ねて〉
遠慮なき回想（野呂芳男）…………… 6
最高に良い日（佐藤文代）…………… 6
〈所蔵資料紹介〉北原武夫 流行作家時代の原稿など
（坂上弘）…………… 7

第31号 1991.1.15

四月六日から山本周五郎展…………… 1
〈随想〉
第一書房の本（富士川英郎）…………… 2
男と女の回想録（津村節子）…………… 3
〈神奈川とわたし〉マダム篠田の家（赤塚行雄）…………… 4
〈文学館を訪ねて〉
セットされた雰囲気（高橋春雄）…………… 5
山手界限（平林敏彦）…………… 5
海辺のきらめき展を観て（中村嘉子）…………… 5
〈館の文庫紹介〉楠本憲吉さんの思い出（清崎敏郎）…… 6
〈所蔵資料紹介〉北村初雄宛書簡を読む（江森國友）…… 7

第32号 1991.4.15

中島敦コレクション三百六十点を一括受贈…………… 1
山本周五郎展特集
生きることを好きにさせる力（辻邦生）…………… 2
山本周五郎文学の発見（奥野健男）…………… 2
周五郎の短篇の魅力（伊藤桂一）…………… 3
たとえば人生派（藤沢周平）…………… 3
山本周五郎先生と私（佐多芳郎）…………… 4
山本周五郎展の構成について（木村久邇典）…………… 4
井上靖常務理事追悼 昨年八月十五日のこと（小田切進）… 5
〈神奈川とわたし〉いい街との出会い（有馬真喜子）…… 6
〈所蔵資料紹介〉塩長五郎の蔵書（林茂夫）…………… 7

第33号 1991.7.15

〈川崎と文学〉神奈川文学散歩展を7月20日から …… 1
神奈川文学散歩展〈川崎と文学〉特集
誇り（瀬戸内寂聴）…………… 2
猫弓のこと（永瀬清子）…………… 2
「夕べの雲」の一家（庄野潤三）…………… 3
多摩川散策（飯田善國）…………… 3
『川崎百人一首』のこと（馬場あき子）…………… 4
南部川崎と文学（入谷清久）…………… 4
多摩川のアダムとイヴ（島田雅彦）…………… 5
多摩丘陵と文学者（池内輝雄）…………… 5
「文学者たちの神奈川《明治編》」を読む
（紀田順一郎）…………… 6
〈神奈川とわたし〉湘南と「青鞥」の女性たち（堀場清子）… 6
〈所蔵資料紹介〉井上光二旧蔵書について（井上輝夫）… 7

第34号 1991.10.15

初の本格的〈詩歌展〉10月19日から …… 1
日本の詩歌展特集
二十代の空穂（窪田章一郎）…………… 2
「寒雷」の出發（加藤楸邨）…………… 2
「新歌人集団」の発足（近藤芳美）…………… 2
去年今年貫く棒の如きもの 高浜虚子（飯田龍太）… 3
歌集命名由来（塚本邦雄）…………… 3

| | |
|--------------------------|---|
| 詩に出会ったころ（中村稔） | 4 |
| 好みと影響（谷川俊太郎） | 4 |
| 詩歌をその全体で見る意味（大岡信） | 5 |
| 〈神奈川とわたし〉第二の故郷・横浜（三好徹） | 6 |
| 〈文学館を訪ねて〉 | |
| 山本周五郎展を観て（窪田篤人） | 6 |
| 豊饒な流れの底に（佃陽子） | 6 |
| 〈所蔵資料紹介〉小林多喜二の遺稿など（栗原幸夫） | 7 |

第35号 1992.1.15

| | |
|-------------------------------|---|
| 生誕100年芥川龍之介展を開催 | 1 |
| 〈随想〉 | |
| 書庫雑談（陳舜臣） | 2 |
| 中原中也の一異文（吉田獺生） | 3 |
| 〈神奈川とわたし〉揺りかごから墓場まで（荻野アンナ） | 4 |
| 〈文学館を訪ねて〉 | |
| 日本の詩歌展を観て（倉橋羊村） | 5 |
| そいそいと動かして（角野栄子） | 5 |
| 〈かもめの便り〉三崎白秋会（野上飛雲〈野上義一〉） | 5 |
| 〈館の文庫紹介〉鎮魂の地に一中島敦文庫について（田鍋幸信） | 6 |
| 〈所蔵資料紹介〉村井弦斎関係資料（大塚豊子） | 7 |

第36号 1992.4.15

| | |
|----------------------------|---|
| 資料寄贈相次ぎ、増改築決まる | 1 |
| 生誕100年芥川龍之介展特集 | |
| 新しい芥川像―本展の構想について（中村真一郎） | 2 |
| 芥川龍之介の想出（加藤周一） | 2 |
| 「神々の微笑」（遠藤周作） | 3 |
| ある感慨をこめて（芥川瑠璃子） | 3 |
| 芥川のなかのフランス文学（辻邦生） | 3 |
| 森鷗外と芥川龍之介（秋山駿） | 4 |
| 「理想の弟子」から…（高橋英夫） | 4 |
| 芥川研究の新しき地平に（宮坂覺） | 4 |
| 芥川と映画（川本三郎） | 5 |
| 前門の芥川、後門の龍之介（荻野アンナ） | 5 |
| 〈神奈川とわたし〉葉山に住んで四十年（堀口すみれ子） | 6 |
| 〈かもめの便り〉鎌倉漱石の会（内田朝子） | 6 |
| 〈所蔵資料紹介〉生田長江資料（谷崎昭男） | 7 |

第37号 1992.7.15

| | |
|--|---|
| 「暗い絵」「真空地帝」原稿など | 1 |
| 〈随想〉 | |
| 古書店への感謝（三木卓） | 2 |
| いとしく、そして嫉ましく（新川和江） | 3 |
| 〈文学館を訪ねて〉 | |
| 深淵の感覚（阿部良雄） | 4 |
| 十七歳の感動（松永琅枝） | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉出会えた人たち（福田美鈴） | 4 |
| 新聞小説史と高木さん『高木健夫文庫目録』に寄せて（林亮勝） | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉森林太郎「クライスト集中に見えたる奇怪なる決闘の話」翻刻「解説」（長谷川泉） | 6 |

第38号 1992.10.15

| | |
|------------------------------|---|
| 没後五〇年 中島敦展を開催 | 1 |
| 没後五〇年 中島敦展特集 | |
| 李陵碑の伝説（駒田信二） | 2 |
| 想像力と詩的対象と（辻邦生） | 2 |
| 三作の脚色（矢代静一） | 3 |
| おかしみと形而上性（竹西寛子） | 3 |
| 多面の才の人（菅野昭正） | 3 |
| 横浜が横浜であった時代（勝又浩） | 4 |
| 展覧会の編集にそえて（田鍋幸信） | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉鎌倉（草間時彦） | 6 |
| 〈かもめの便り〉中島敦の会（田沼智明） | 6 |
| 〈所蔵資料紹介〉「多情佛心」の“コピー”原稿（江種満子） | 7 |

第39号 1993.1.15

| | |
|----------------------------|---|
| 増改築工事の進捗順調に | 1 |
| 〈随想〉 | |
| 振り返れば、未来（木村尚三郎） | 3 |
| 本との関係（加藤幸子） | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉藤野の山里（今西祐行） | 5 |
| 〈かもめの便り〉横浜芸芸懇話会（内田四方蔵） | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉添田知道「空襲下日記」（鹿野政直） | 6 |
| 〈館の文庫紹介〉長篠康一郎収集太宰治文庫（関井光男） | 7 |

第40号 1993.4.15

| | |
|-----------------------------|---|
| 中野孝次常務理事が新理事長に | 1 |
| 就任のことば（中野孝次） | 1 |
| 特集 小田切進理事長追悼 | |
| 寸言（本多秋五） | 2 |
| 元立教同僚の記憶から（松崎仁） | 2 |
| 長安 空し（長洲一） | 3 |
| ある日、館長室で（永井路子） | 3 |
| 最後の御葉書（野上義一） | 3 |
| 弁辞（中野孝次） | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉ふたつの場所（加島祥造） | 5 |
| 〈かもめの便り〉湘東文庫・白秋ライブラリー（鈴木英夫） | 5 |
| 大磯文学散歩の楽しみ（小泉浩一郎） | 6 |
| 〈所蔵資料紹介〉蘭郁二郎資料（會津信吾） | 7 |

第41号 1993.7.15

| | |
|---------------------------|---|
| 湘南の文学と美術展を開催 | 1 |
| 湘南の文学と美術展特集 | |
| 近代が動く―湘南と文士たち（小山文雄） | 2 |
| 湘南を描いた画家たち（匠秀夫） | 3 |
| 鎌倉の文士たち（村上光彦） | 4 |
| 木下利玄の歌集（紅野敏郎） | 5 |
| 思い出の片影―福田正夫生誕百年によせて（伊藤信吉） | 6 |
| 〈所蔵資料紹介〉春夫あて潤一郎書簡（千葉俊二） | 7 |

第42号 1993.10.15

| | |
|---------------------------|---|
| 休館中、館外活動を積極的に展開 | 1 |
| 〈随想〉 | |
| 楸郎先生追想（古沢太穂） | 2 |
| 義秀記念館と義秀賞（安西篤子） | 3 |
| 〈神奈川とわたし〉横浜と鎌倉（岡松和夫） | 4 |
| 〈かもめの便り〉夏目漱石と徳富蘇峰（高野静子） | 4 |
| 横須賀・葉山・逗子文学散歩によせて（堀口すみれ子） | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉 | |
| 鷗外新資料（竹盛天雄） | 6 |
| 近藤東文庫の雑誌から（中島可一郎） | 7 |

第43号 1994.1.15

| | |
|---------------------------------|---|
| 西脇順三郎展を鎌倉で開催 | 1 |
| 新春随想（中野孝次） | 1 |
| 〈随想〉 | |
| 風の音（辻井喬） | 2 |
| 葛原妙子の処女歌集改編（馬場あき子） | 2 |
| 〈神奈川とわたし〉幻景の本牧（菅野昭正） | 4 |
| 〈かもめの便り〉湘南の文学と美術展を観て（東珠樹） | 4 |
| 隠れたる透谷―没後百年によせて（富岡幸一郎） | 5 |
| 下曾我行―文学散歩によせて（小山文雄） | 6 |
| 〈所蔵資料紹介〉野間真綱宛漱石書簡 思いやりの深さ（伊豆利彦） | 7 |

第44号 1994.4.15

| | |
|-----------------|---|
| 文学館運営の一切を財団に一本化 | 1 |
| 西脇順三郎展特集 | |
| 詩碑の近くに住んで（入沢康夫） | 2 |

| | |
|------------------------------|---|
| 出品資料から | 2 |
| こういう風に描けるとは（海上雅臣） | 3 |
| 〈連載随筆1〉エピソード一つ（八木義徳） | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉明治の痕跡（紀田順一郎） | 5 |
| 〈県内の同人誌1〉「潮音」の歩み（太田絢子） | 5 |
| この一冊 | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉内田百閒資料 百閒文章の奥行（内田道雄） | 6 |
| 常設展のみどころ | 7 |
| 閲覧室から | 7 |

第45号 1994.7.15

| | |
|-------------------------|---|
| 美術評論家・矢代幸雄の資料を一括受贈 | 1 |
| 〈随筆〉さまよう（大庭みな子） | 2 |
| 〈連載随筆2〉義秀さんの一喝（八木義徳） | 3 |
| 〈神奈川とわたし〉片瀬の蟹気楼（佐江衆一） | 4 |
| 〈県内の同人誌2〉「鹿火屋」の歩み（原裕） | 4 |
| この一冊 | 4 |
| 〈所蔵資料紹介〉宮嶋資夫と「坑夫」（黒古一夫） | 5 |
| 機能面さらに充実―増築部紹介 | 6 |
| 常設展のみどころ2・閲覧室から | 7 |

第46号 1994.10.15

| | |
|-------------------------|---|
| 全面再開館にて「収蔵コレクション展」を開催 | 1 |
| 開館十周年にあたって | |
| ローカル・カラーを超えて（岡松和夫） | 2 |
| 開館十周年に寄せて（中村真一郎） | 2 |
| 貴重な資料の数々―二十五の文庫と主な資料 | 3 |
| 〈連載随筆3〉吉行淳之介君を悼む（八木義徳） | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉引越しのたまもの（中蘭英助） | 5 |
| 〈県内の同人誌3〉「濱」（下田稔） | 5 |
| この一冊 | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉横光利一原稿五編（保昌正夫） | 6 |
| 常設展のみどころ3 | 7 |
| 閲覧室から | 7 |

第47号 1995.1.15

| | |
|------------------------------------|---|
| 新春随想（中野孝次） | 1 |
| 志賀直哉、井伏鱒二、林京子の原稿などを受贈 | 1 |
| 〈随想〉漱石が歩いた道（山本道子） | 2 |
| 〈神奈川とわたし〉一体どこの人間か（高橋治） | 3 |
| 〈県内の同人誌4〉「歌と評論」（三馬昭一） | 3 |
| この一冊 | 3 |
| 演歌について―『添田啞蟬坊・知道文庫目録』刊行によせて（加太こうじ） | 4 |
| 〈所蔵資料紹介〉幸徳秋水宛斎藤緑雨書簡（十川信介） | 5 |
| 資料保存この十年 | 6 |
| 常設展のみどころ4 | 7 |
| 閲覧室から | 7 |

第48号 1995.4.15

| | |
|-----------------------------|---|
| 「泉鏡花展―水の迷宮―」を開催 | 1 |
| 泉鏡花展特集 | |
| パリで読んだ鏡花（津島佑子） | 2 |
| 泉鏡花の《新しさ》について（松村友視） | 2 |
| 出品資料から | 3 |
| 〈鎌倉の文人たち1〉里見淳先生 多情薄情（瀬戸内寂聴） | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉ヨコハマ夢譚（笠原淳） | 5 |
| 〈県内の同人誌5〉「相模野」（片野静雄） | 5 |
| この一冊 | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉中野重治書簡六百五十三通（林淑美） | 6 |
| 常設展のみどころ5 | 7 |
| 閲覧室から | 7 |

第49号 1995.7.15

| | |
|-----------------|---|
| 井上光晴の草稿百八十七点を受贈 | 1 |
|-----------------|---|

| | |
|---|---|
| 〈随想〉嘘について（天沢退二郎） | 2 |
| 〈鎌倉の文人たち2〉吉屋信子さん こよなく女らしい人（瀬戸内寂聴） | 3 |
| 阪神大震災に遭遇して（畑幸雄） | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉高校時代（山本昌代） | 5 |
| 〈県内の同人誌6〉「駒草」（逢田紀枝子） | 5 |
| この一冊 | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉山野帰住への共感―斎藤清衛宛前田夕暮書簡をめぐって（山田吉郎） | 6 |
| 常設展のみどころ6 | 7 |
| 閲覧室から | 7 |

第50号 1995.10.15

| | |
|--|----|
| 神奈川文学散歩展「鎌倉文学の理想郷」を開催 | 1 |
| 神奈川文学散歩展・鎌倉特集 | |
| 「門」の周辺（永井路子） | 2 |
| 〈鎌倉の文人たち3〉川端康成先生（1）朱泥の徳利（瀬戸内寂聴） | 3 |
| 『神奈川近代文学年表 文学者たちの神奈川《大正・昭和前期編》』を読む（山田宗睦） | 4 |
| 「神奈川近代文学館」1～50号主要目次 | 5 |
| 〈神奈川とわたし〉青春を支えてくれた第二の故郷（斎藤栄） | 9 |
| 〈県内の同人誌7〉「遠つびと」（関口満津子） | 9 |
| この一冊 | 9 |
| 〈所蔵資料紹介〉田中直樹氏寄贈「文学界」創刊関係資料（郡司勝義） | 10 |
| 常設展のみどころ7 | 11 |
| 閲覧室から | 11 |

第51号 1996.1.15

| | |
|--|---|
| 年の初めに思う（中野孝次） | 1 |
| 広津家三代の資料、六千四百点余を受贈 | 1 |
| 〈鎌倉の文人たち4〉川端康成先生（2）ノーベル賞の日（瀬戸内寂聴） | 2 |
| 〈随想〉ヨーロッパの電子出版（紀田順一郎） | 3 |
| 〈神奈川とわたし〉僕にとつて神奈川県とは（寺田透） | 4 |
| 〈県内の同人誌8〉「醍醐」（浜田蝶二郎） | 4 |
| この一冊 | 5 |
| レプリカ製作について | 5 |
| 友の会・鎌倉文学散歩報告 | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉森川義信宛鮎川信夫、中桐雅夫書簡 戦中の青春を刻んだ書簡（牟礼慶子） | 6 |
| 常設展のみどころ8 | 7 |
| 閲覧室から | 7 |

第52号 1996.4.15

| | |
|---------------------------------|---|
| 神奈川文学散歩展「箱根・県央―緑と風と文学と」を開催 | 1 |
| 神奈川文学散歩展「箱根・県央―緑と風と文学と」特集 | |
| 舞台になりにくい土地だが（古山高麗雄） | 2 |
| 箱根仙石原の折口信夫（岡野弘彦） | 3 |
| 出品資料から | 3 |
| 〈鎌倉の文人たちⅡ（1）〉与謝野晶子 非凡なエッセイ（秋山駿） | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉故郷三つ（佐藤さとる） | 5 |
| 〈県内の同人誌9〉「日本未来派」（西岡光秋） | 5 |
| この一冊 | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉広津和郎の松川裁判関係資料（坂本育雄） | 6 |
| 常設展のみどころ9 | 6 |
| 閲覧室 | 6 |

第53号 1996.7.15

| | |
|-----------------------------|---|
| 新展示「戦後の文学―新世代の登場まで」を開催 | 1 |
| 新展示「戦後の文学―新世代の登場まで」特集 | |
| 「戦後の文学―新世代の登場まで」展に寄せて（川西政明） | 2 |
| 「絵合せ」を読む（庄野潤三） | 3 |

| | | | |
|--|---|-------------------------------|---|
| 〈鎌倉の文人たちⅡ (2)〉 中原中也 冥府の色 (秋山駿) … | 4 | (伊藤信吉) …………… | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉 鉄橋を渡る (竹西寛子) …………… | 5 | 〈神奈川とわたし〉 江ノ島改造思案 (辻原登) …………… | 5 |
| 〈県内の同人誌 10〉 「掌」 (志崎純) …………… | 5 | 〈県内の同人誌 15〉 「青虹」 (石井徹) …………… | 5 |
| この一冊 …………… | 5 | 〈所蔵資料紹介〉 大岡昇平「野火」原稿発見 (樋口寛) … | 6 |
| 〈所蔵資料紹介〉 稲垣足穂『一千一秒物語』草稿を読む (高橋康雄) …………… | 6 | 閲覧室 …………… | 7 |
| 閲覧室 …………… | 6 | | |

第 54 号 1996.10.15

| | | | |
|--|---|--|--|
| 「大岡昇平展」を開催 …………… | 1 | | |
| 大岡昇平展特集 | | | |
| 大岡文学の本質 (中野孝次) …………… | 2 | | |
| 文士中の文士 (大久保房男) …………… | 3 | | |
| 出品資料から …………… | 2 | | |
| 〈鎌倉の文人たちⅡ (3)〉 小林秀雄 未刊の「感想」の こと (秋山駿) …………… | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 川のある風景 (小林久三) …………… | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 11〉 俳句雑誌「末黒野」(青木重行) …… | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 横山健堂資料にふれて (平岡敏夫) …… | 6 | | |
| 閲覧室 …………… | 6 | | |

第 55 号 1997.1.15

| | | | |
|---|---|--|--|
| 横浜の顔、日本の顔 (中野孝次) …………… | 1 | | |
| 故・関英雄理事の資料四千三百八十点を受贈 …………… | 1 | | |
| 〈随想〉 長谷川伸と新鷹会 (村上元三) …………… | 2 | | |
| 「文学界」復刻と井伏さん (古山登) …………… | 3 | | |
| 出品資料から …………… | 2 | | |
| 〈鎌倉の文人たちⅡ (4)〉 国木田独歩 明治の覇気 (秋山駿) …………… | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 山里から港町へ (西木正明) …………… | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 12〉 戸塚駅乗降者俳句会会報 (八木莊一) … | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 井上光晴の草稿、ノート (ゆりはじめ) … | 6 | | |
| 閲覧室 …………… | 7 | | |

第 56 号 1997.4.15

| | | | |
|--|---|--|--|
| 「立原正秋展」開催 …………… | 1 | | |
| 〈寄稿・立原正秋展〉 | | | |
| 海の人 (秦恒平) …………… | 2 | | |
| 東ヶ谷山房綴 (立原光代) …………… | 3 | | |
| ファインダー …………… | 3 | | |
| 〈連載随筆〉 神奈川の中の上州人 1 詩人 高橋元吉 (伊藤信吉) …………… | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 文字の開眼 (東郷隆) …………… | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 13〉 「玉藻」 (星野高士) …………… | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 小巻豆城氏旧蔵資料とその思い出 (古沢太穂) …………… | 6 | | |
| 閲覧室 …………… | 7 | | |

第 57 号 1997.7.15

| | | | |
|--|---|--|--|
| われらが「芸亭」 (山田宗睦) …………… | 1 | | |
| 〈寄稿・立原正秋展〉 | | | |
| 与謝野晶子と「横浜貿易新報」(赤塚行雄) …………… | 2 | | |
| 戦時下の荷風 (川本三郎) …………… | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |
| 〈連載随筆〉 神奈川の中の上州人 2 作家 佐藤緑葉 (伊藤信吉) …………… | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 あの日掲げた灯を (篠原あや) …… | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 14〉 「あざみ」 (河野薫) …………… | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 矢代幸雄資料によせて (山梨絵美子) … | 6 | | |
| 閲覧室 …………… | 7 | | |

第 58 号 1997.10.15

| | | | |
|-----------------------------|---|--|--|
| 「文学の挿絵と装幀展」開催 …………… | 1 | | |
| 「文学の挿絵と装幀展」にかかわって (樋田満文) …… | 2 | | |
| 挿絵の愉しみ (久世光彦) …………… | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |
| 〈連載随筆〉 神奈川の中の上州人 3 歌人 田中辰雄 | | | |

第 59 号 1998.1.15

| | | | |
|--|---|--|--|
| 〈新春随想〉 鎌倉・実朝 (岡松和夫) …………… | 1 | | |
| 《収蔵コレクション展》 神西清文庫を開催 …………… | 1 | | |
| みねとしげと鷗外 (森まゆみ) …………… | 2 | | |
| 〈寄稿・収蔵コレクション展 神西清展〉 | | | |
| 神西さんと堀さん (中村真一郎) …………… | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |
| 〈連載随筆〉 神奈川の中の上州人 4 詩人 大手拓次 (伊藤信吉) …………… | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 私の横須賀 (長島三芳) …………… | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 16〉 川柳「路」 (関水華) …………… | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 藤田圭雄文庫「手紙の思い出」 (藤田圭雄) …………… | 6 | | |
| 閲覧室 …………… | 6 | | |

第 60 号 1998.4.15

| | | | |
|--|---|--|--|
| 「広津柳浪・和郎・桃子展」を開催—広津家三代の文学 … | 1 | | |
| ユニークな三代の作家展 (橋本迪夫) …………… | 2 | | |
| 麻薬的快感 (村松友視) …………… | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |
| 〈連載随筆〉 5、60 年代の交友録から 1 安部公房のこと (中藺英助) …………… | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 至福の子ども時代 (のごく一端) (坂坂和志) …………… | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 17〉 「山河」 (加藤あきと) …………… | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 芥川龍之介の小島政二郎宛書簡 (宮坂寛) …………… | 6 | | |
| 閲覧室 …………… | 7 | | |

第 61 号 1998.7.15

| | | | |
|--|---|--|--|
| 木下空太郎の書画寄贈される …………… | 1 | | |
| 中村真一郎さんの処女翻訳 (入沢康夫) …………… | 2 | | |
| ヘボン先生、バード女史、それに伊藤という無名の青年 (関川夏央) …………… | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |
| 〈連載随筆〉 5、60 年代の交友録から 2 敏雄と四郎 (中藺英助) …………… | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 秋谷の海 (水橋晋) …………… | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 18〉 「山脈」 (村山精二) …………… | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 中川孝収集実篤文庫目録 (西垣勤) …… | 6 | | |
| 閲覧室 …………… | 7 | | |

第 62 号 1998.10.15

| | | | |
|---|---|--|--|
| 「谷崎潤一郎展」開催 …………… | 1 | | |
| 三十年ぶりの谷崎潤一郎 (野口武彦) …………… | 2 | | |
| エゴイズムの魅力 (山崎洋子) …………… | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |
| 〈連載随筆〉 5、60 年代の交友録から 3 泰淳と健 (中藺英助) …………… | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 五十四年間 (山田太一) …………… | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 19〉 道標 (徳安通敏) …………… | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 花田清輝の肉筆原稿の寄贈について (古林尚) …………… | 6 | | |
| 閲覧室 …………… | 7 | | |

第 63 号 1999.1.15

| | | | |
|-------------------------------|---|--|--|
| 〈新春随想〉 文豪の恋文 (安西篤子) …………… | 1 | | |
| 〈吉野秀雄資料を受贈〉 …………… | 1 | | |
| 「近藤東文庫」展のあとに (金子秀夫) …………… | 2 | | |
| 海洋族の世界人 堀田善衛の成し遂げたもの (夏堀正元) … | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |

| | | | |
|--|---|--|---|
| 〈連載随筆〉 5、60 年代の交友録から 4 大江健三郎 (中藺英助) …………… | 4 | 〈連載随筆〉 師友忘れ難し 1 山本周五郎の釣銭 (早乙女貢) …………… | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉 思い出あれこれ (内山登美子) …… | 5 | 〈神奈川とわたし〉 偶然の回帰 (赤瀬川隼) …………… | 5 |
| 〈県内の同人誌 20〉 「京浜詩派」 (佐藤富美雄) …… | 5 | 〈県内の同人誌 25〉 「青い階段」 (浅野章子) …… | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉 三重吉と「赤い鳥」、その表と裏 (佐藤宗子) …………… | 6 | 〈所蔵資料紹介〉 富永太郎「詩帖 1」の魅力 (佐々木幹郎) … | 6 |
| 閲覧室 …………… | 7 | 閲覧室 …………… | 7 |

第 64 号 1999.4.15

| | | | |
|---|---|--|--|
| 「開高健展」開催 …………… | 1 | | |
| 厳粛な別れ道 (青野聰) …………… | 2 | | |
| 開高健と戦争 (川西政明) …………… | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |
| 〈連載随筆〉 逝ってしまった先達たち 1 その年の思い出 (大庭みな子) …………… | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 横浜ハードボイルド (北方謙三) …… | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 21〉 「銀貨」 (日向野花郷) …………… | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 佐多芳郎の世界 (渡辺圭二) …………… | 6 | | |
| 閲覧室 …………… | 7 | | |

第 65 号 1999.7.15

| | | | |
|--|---|--|--|
| 漱石の遺品、当館に寄贈される …………… | 1 | | |
| 投稿少年から文士へ—大正時代の川端康成と大宅壮一— (猪瀬直樹) …………… | 2 | | |
| 昔噺から聖書まで—太宰治の初期文学史 (長部日出雄) … | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |
| 〈連載随筆〉 逝ってしまった先達たち 2 早春の雨 (大庭みな子) …………… | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 遙かな港 (浅田次郎) …………… | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 22〉 「市民短歌」 (大友道夫) …………… | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 ブリキの金魚 4 個『中里恒子文庫目録』 に寄せて (西永達夫) …………… | 6 | | |
| 閲覧室 …………… | 7 | | |

第 66 号 1999.10.15

| | | | |
|--|---|--|--|
| 「永井荷風展」開催 …………… | 1 | | |
| 昂揚と沈潜と—「ひかげの花」に触れて— (竹盛天雄) … | 2 | | |
| 荷風を憶う (近藤富枝) …………… | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |
| 〈連載随筆〉 逝ってしまった先達たち 3 半世紀 (大庭みな子) …………… | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 新鮮な地 (上坂高生) …………… | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 23〉 「象」 (篠原あや) …………… | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 「漱石の遺品」の記者発表とこれから (保昌正夫) …………… | 6 | | |
| 閲覧室 …………… | 7 | | |

第 67 号 2000.1.15

| | | | |
|--|---|--|--|
| 〈新春随想〉 紀元二千年の新春に (中野孝次) …………… | 1 | | |
| 「収蔵コレクション展 (3) 尾崎一雄文庫」を開催 …… | 1 | | |
| 風葉とまわりの人々 (小中陽太郎) …………… | 2 | | |
| 〈寄稿・収蔵コレクション展 (3)〉 | | | |
| 尾崎さんに惹かれて (高橋英夫) …………… | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |
| 〈連載随筆〉 逝ってしまった先達たち 4 木立 (大庭みな子) …………… | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 相模原三十年 (南原幹雄) …… | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 24〉 地下水 (鈴木多佳) …………… | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 戦後の出発を画した 鮎川信夫の手書き 原稿 (牟礼慶子) …………… | 6 | | |
| 閲覧室 …………… | 7 | | |

第 68 号 2000.4.15

| | | | |
|------------------------|---|--|--|
| 「司馬遼太郎が愛した世界展」開催 …………… | 1 | | |
| 「座談の名人」の小説 (青木彰) …………… | 2 | | |
| 論客去る (陳舜臣) …………… | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |

第 69 号 2000.7.15

| | | | |
|--|---|--|--|
| 吉田満資料を受贈 …………… | 1 | | |
| 感性の眼差し—古沢太穂を偲ぶ— (金子兜太) …… | 2 | | |
| 子規とパソコン (坪内稔典) …………… | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |
| 〈連載随筆〉 師友忘れ難し 2 中山義秀の酒 (早乙女貢) … | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 早朝の 3POH (ポー) 行 (山下明生) … | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 26〉 「よこはま野火」 (進藤いつ子) …… | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 作家の声、時代の声 島木健作「昭和 二十年日記」 (富岡幸一郎) …………… | 6 | | |
| 閲覧室 …………… | 7 | | |

第 70 号 2000.10.15

| | | | |
|--|---|--|--|
| 「原爆文学展」開催 …………… | 1 | | |
| 反核運動と原爆文学 (中野孝次) …………… | 2 | | |
| 「あの日のこと」と『黒い卵』 (堀場清子) …………… | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |
| 〈連載随筆〉 師友忘れ難し 3 海音寺潮五郎と刀 (早乙女貢) …………… | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 横浜そして神奈川 (水原紫苑) …… | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 27〉 「顔」 (牧石剛明) …………… | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 『中村光夫文庫目録』をよむ (中山和子) … | 6 | | |
| 閲覧室 …………… | 7 | | |

第 71 号 2001.1.15

| | | | |
|---------------------------------------|---|--|--|
| 〈新春随想〉 渡しきて世紀哀しき老爺かな (山田宗睦) … | 1 | | |
| 三十二番目の文庫に「吉野秀雄文庫」 …………… | 1 | | |
| 〈寄稿・収蔵コレクション展 (4)〉 | | | |
| 写実に幻想を加えて (新田義之) …………… | 2 | | |
| 「日本現代詩研究者国際ネットワーク」のこと (小海永二) …………… | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |
| 〈連載随筆〉 師友忘れ難し 4 有馬頼義の薬 (早乙女貢) … | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 空襲、そして軍事基地 (寛愼二) …… | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 28〉 「紫陽花」 (柴崎左田男) …………… | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 フランス文学華やかなりし頃 (古屋健三) … | 6 | | |
| 閲覧室 …………… | 7 | | |

第 72 号 2001.4.15

| | | | |
|--|---|--|--|
| 「子どもの本の世界展」開催 …………… | 1 | | |
| 大人にすゝめたい児童文学 (河合隼雄) …………… | 2 | | |
| 口から蛇 (立原えりか) …………… | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |
| 〈連載随筆〉 1 わが師友 小沼沼さんの章 秀作時代のお 守 (三浦哲郎) …………… | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 神奈川は広い (皆川博子) …… | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 29〉 「獣」 (本野多喜男) …………… | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 資料の顔—中島敦文庫 (勝又浩) …… | 6 | | |
| 閲覧室 …………… | 7 | | |

第 73 号 2001.7.15

| | | | |
|--|---|--|--|
| 枋山梓月資料を受贈 …………… | 1 | | |
| 芥川龍之介と鶴沼の東屋 (佐江衆一) …………… | 2 | | |
| 戦時下の石川淳 (渡辺喜一郎) …………… | 3 | | |
| ファインダー …………… | 2 | | |
| 〈連載随筆〉 2 わが師友 天狗太郎さんの章 失われた好 局 (三浦哲郎) …………… | 4 | | |
| 〈神奈川とわたし〉 もう東京はいらない (山崎洋子) …… | 5 | | |
| 〈県内の同人誌 30〉 「波」 (倉橋羊村) …………… | 5 | | |
| 〈所蔵資料紹介〉 原画の迫力と魅力—中尾進資料 | | | |

| | |
|-------------|---|
| （清原康正）…………… | 6 |
| 閲覧室…………… | 7 |

第74号 2001.10.15

| | |
|---|---|
| 「野間宏と戦後派の作家たち展」開催…………… | 1 |
| 野間さんのえくぼ（佐木隆三）…………… | 2 |
| 文学、その地平をどこまでも（菅野昭正）…………… | 3 |
| ファインダー…………… | 2 |
| 〈連載随筆〉3 わが師友 新本燦根さんの章 釣竿をス テッキにして（三浦哲郎）…………… | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉葉山の少年（太田治子）…………… | 5 |
| 〈県内の同人誌31〉「萬華鏡」（芳忠復子）…………… | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉ふしぎな人 正岡容（大西信行）…………… | 6 |
| 閲覧室…………… | 7 |

第75号 2002.1.15

| | |
|--|---|
| 〈新春随想〉喜寿の春（中野孝次）…………… | 1 |
| 井上靖記念室を設置…………… | 1 |
| 私の心に生きる明治の文学（伊豆利彦）…………… | 2 |
| 〈寄稿・収蔵コレクション展5〉 忘れてはいけない作家（祖父江昭二）…………… | 3 |
| ファインダー…………… | 2 |
| 〈所蔵資料紹介〉「戦艦大和」鎮魂の旅 その航跡—吉田 満資料—（千早耿一郎）…………… | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉山手十番館の落日（新井満）…………… | 5 |
| 〈県内の同人誌32〉「まんさく」（木内岳南）…………… | 5 |

第76号 2002.4.15

| | |
|---|---|
| 夏目漱石遺品受贈記念「夏目漱石展」開催…………… | 1 |
| 漱石と房総（川本三郎）…………… | 2 |
| 漱石はいまもなぜ読まれるのか（高橋源一郎）…………… | 3 |
| ファインダー…………… | 2 |
| 〈連載随筆〉まだ海のあったころ1『荒地』のこと、氷 川丸のこと（加島祥造）…………… | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉黙阿弥いらいの縁（河竹登志夫）…………… | 5 |
| 〈県内の同人誌33〉「狩」（遠藤若狭男）…………… | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉近藤東特別資料の意義—近藤東文庫目 録完成に寄せて（金子秀夫）…………… | 7 |
| 閲覧室…………… | 7 |

第77号 2002.7.15

| | |
|---|---|
| 「夏目漱石展」好評裡に終了…………… | 1 |
| 松本清張 反権力の栄光（森村誠一）…………… | 2 |
| 〈寄稿・収蔵コレクション展6〉 敦の魅力（森田誠吾）…………… | 3 |
| ファインダー…………… | 2 |
| 〈連載随筆〉まだ海のあったころ2 大きな草っ原と崖つ ぶち（加島祥造）…………… | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉引越し人生《神奈川編》（伊井直行）…………… | 5 |
| 〈県内の同人誌34〉「かりん」（岩田正）…………… | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉みごとな推敲の厳密さ—寺田透文庫に ついて（田邊園子）…………… | 6 |
| 閲覧室…………… | 7 |

第78号 2002.10.15

| | |
|---------------------------------------|---|
| 「生誕一〇〇年記念展 歌びと 吉野秀雄」開催…………… | 1 |
| 〈寄稿・歌びと吉野秀雄〉 よみがえった万葉人（島田修三）…………… | 2 |
| 戦後彗星の如く出現、吉野秀雄讃（斎藤正二）…………… | 3 |
| ファインダー…………… | 2 |
| 〈連載随筆〉まだ海のあったころ3 磯子の海1 （加島祥造）…………… | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉海のほとりへ（高橋睦郎）…………… | 5 |
| 〈県内の同人誌35〉「風嘯」（岩本俊夫）…………… | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉菅原克己資料によせて（三木卓）…………… | 6 |
| 閲覧室…………… | 7 |

第79号 2003.1.15

| | |
|---------------------------------------|---|
| 〈新春随想〉正月の山手（紀田順一郎）…………… | 1 |
| 『夜明け前』と神奈川（十川信介）…………… | 2 |
| 「閏二月二十九日」のこと（林淑美）…………… | 3 |
| ファインダー…………… | 2 |
| 〈連載随筆〉まだ海のあったころ4 磯子の海2 （加島祥造）…………… | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉梶ヶ谷界限（入沢康夫）…………… | 5 |
| 〈県内の同人誌36〉「ポエム・横浜」（大瀧修一）…………… | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉戦後空間が持ち得た可能性を映す （岡庭昇）…………… | 6 |

第80号 2003.4.15

| | |
|---|---|
| 「不滅の剣豪3人展」開催…………… | 1 |
| 〈寄稿・不滅の剣豪3人展〉 三人のヒーロー 一つの視点（山田宗睦）…………… | 2 |
| ファインダー…………… | 2 |
| 〈連載随筆〉文壇離れの文士像1 田宮虎彦さん （城山三郎）…………… | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉私と金沢八景（中沢けい）…………… | 5 |
| 〈県内の同人誌37〉「青山」（山崎ひさを）…………… | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉山本七平の「デスマスク」（井尻千男）…………… | 6 |
| 閲覧室…………… | 7 |

第81号 2003.7.15

| | |
|---|---|
| 荻原井泉水資料を受贈…………… | 1 |
| 牧羊子先生と茅ヶ崎駅（小林照幸）…………… | 2 |
| 一葉・明治の女（滝藤満義）…………… | 3 |
| ファインダー…………… | 2 |
| 〈連載随筆〉文壇離れの文士像2 大岡昇平さん （城山三郎）…………… | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉いまも自然の神奈川（青野聰）…………… | 5 |
| 〈県内の同人誌38〉「アル」（西村富枝）…………… | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉『鈴木三重吉・赤い鳥文庫目録』を手 にして（上笙一郎）…………… | 6 |

第82号 2003.10.15

| | |
|---------------------------------------|---|
| 「井上靖展」開催…………… | 1 |
| 〈寄稿・井上靖展〉 ペン大会のことなど（三好徹）…………… | 2 |
| 井上靖の詩の魅力（秦恒平）…………… | 3 |
| ファインダー…………… | 2 |
| 〈連載随筆〉文壇離れの文士像3 永井龍男さん （城山三郎）…………… | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉因縁（藤沢周）…………… | 5 |
| 〈県内の同人誌39〉「森」（寛慎二）…………… | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉定型復帰への道（山田吉郎）…………… | 6 |
| 閲覧室…………… | 7 |

第83号 2004.1.15

| | |
|--|---|
| 〈新春随想〉神奈川近代文学館の二十年（中野孝次）…………… | 1 |
| 春は「芥川龍之介」展…………… | 1 |
| 戦前期の小林秀雄（秋山駿）…………… | 2 |
| 〈寄稿・収蔵コレクション展7 高木健夫文庫〉 師の書庫（福田はるか）…………… | 3 |
| ファインダー…………… | 2 |
| 〈連載随筆〉文壇離れの文士像4 結城昌治さん （城山三郎）…………… | 4 |
| 〈神奈川とわたし〉岡倉天心と横浜（新井恵美子）…………… | 5 |
| 〈県内の同人誌40〉「権の実」（山口飛蝶）…………… | 5 |
| 〈所蔵資料紹介〉野間宏「戦中日記」の衝撃（尾末奎司）…………… | 6 |

第84号 2004.4.15

| | |
|-------------------------------|---|
| 特別展「21世紀文学の予言者 芥川龍之介展」開催…………… | 1 |
| 芥川と外国文学管見（小玉晃一）…………… | 2 |
| 慈眼寺まで（原田宗典）…………… | 3 |

| | |
|---|---|
| 〈展示会場から〉特別展 1916年・漱石・一宮の夏 …… | 5 |
| 図録紹介…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉戦後の児童文学者たち（1）カボチャの花 （長崎源之助）…………… | 6 |
| 〈神奈川とわたし〉神奈川近代文学館との20年（内田四方蔵）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉中蘭英助文庫から…………… | 8 |
| 神奈川文学年表1…………… | 9 |

第85号 2004.7.15

| | |
|---|---|
| 中山義秀資料を受贈…………… | 1 |
| 〈寄稿〉不思議な出会いに立ち会った（高橋治）…………… | 2 |
| 〈寄稿〉菊池寛の復活（日高昭二）…………… | 3 |
| 〈展示会場から〉鎌倉女学校と作家たち展 大佛次郎と 李如雲…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉戦後の児童文学者たち（2）津軽のりんご （長崎源之助）…………… | 6 |
| 〈神奈川とわたし〉今、思うこと（江森國友）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉広津和郎 戦時日記…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表2…………… | 9 |

第86号 2004.10.15

| | |
|---|----|
| 中野孝次理事長が逝去…………… | 1 |
| 追悼・中野孝次 中野孝次さんの死を悼む（安西篤子）…………… | 1 |
| 己れの欲するところに従って、他を忘れず（山田宗睦）…………… | 2 |
| 悼（加島祥造）…………… | 2 |
| 良く生きた人（秋山駿）…………… | 3 |
| 爽やかな風（児玉清）…………… | 3 |
| 閑の会のこと（岡松和夫）…………… | 4 |
| 〈開館20周年記念寄稿1〉 神奈川近代文学館二十周年にあたって（松沢成文）…………… | 5 |
| 夢の翼をひろげよう（篠崎孝子）…………… | 6 |
| 〈収蔵コレクション展寄稿〉 陰画と陽画（石川九楊）…………… | 7 |
| 弔辞の文学論（立松和平）…………… | 8 |
| 漱石の文机と万年筆（矢島裕紀彦）…………… | 9 |
| 〈展示会場から〉戦時下の作家たちの声…………… | 10 |
| 図録紹介…………… | 10 |
| 〈連載随筆〉戦後の児童文学者たち（3）自分の道 （長崎源之助）…………… | 11 |
| 〈神奈川とわたし〉緩やかな時の流れ（尾崎左永子）…………… | 12 |

第87号 2005.1.15

| | |
|---|---|
| 〈新春随想〉年頭の願い（安西篤子）…………… | 1 |
| 新常設展示「文学の森へ 神奈川と作家たち」を開催…………… | 1 |
| 〈開館20周年記念寄稿2〉 展示のつくり（竹西寛子）…………… | 2 |
| 二十周年回顧（野上義一）…………… | 3 |
| 神奈川近代文学館二十年のあゆみ（略年譜）…………… | 2 |
| 〈寄稿・新青年〉“懐かしの”ではない「新青年」（新保博久）…………… | 4 |
| 〈展示会場から〉常設展 文学の森へ リニューアルオー プン…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉戦後の児童文学者たち（4）花びら忌 （長崎源之助）…………… | 6 |
| 〈神奈川とわたし〉大好きな町（末吉暁子）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉堀辰雄文庫…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表3…………… | 9 |

第88号 2005.4.15

| | |
|---|---|
| 「生誕80年・没後35年記念展 三島由紀夫 ドラマティッ クヒストリー」を開催…………… | 1 |
| 〈寄稿・三島由紀夫展〉 さなぎの時代—「会計日記」をめぐる（田中美代子）…………… | 2 |
| 十年にひとりの天才（櫻田満）…………… | 3 |
| 〈展示会場から〉三島由紀夫と「鉢の木会」…………… | 5 |
| 図録紹介…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉めぐりあえた幸せ(1) 堀田家の花見（林京子）…………… | 6 |

| | |
|----------------------------------|---|
| 〈神奈川とわたし〉リスの仕事、わたしの仕事（城戸朱理）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉楠本憲吉旧蔵『俳句二葉集』…………… | 8 |

第89号 2005.7.15

| | |
|--|---|
| 「三島由紀夫展」好評裡に終了…………… | 1 |
| 新常設展「文学の森へ神奈川と作家たち」第3部「太宰 治、三島由紀夫から現代まで」開催…………… | 1 |
| 〈寄稿〉巴里のラーメン店で（司修）…………… | 2 |
| 〈寄稿・島木健作展〉島木健作の「復活」（新保祐司）…………… | 3 |
| 〈展示会場から〉没後60年島木健作展 嶋中雄作あて 書簡…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉めぐりあえた幸せ(2) みさ子夫人のパパさん （林京子）…………… | 6 |
| 〈神奈川とわたし〉変わりつづける町（立原えりか）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉金達寿文庫から 金史良 四通のはがき…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表4…………… | 9 |

第90号 2005.10.15

| | |
|--|---|
| 秋の特別展「日本の童謡 白秋、八十 一そしてまど・みちおと金子みすゞ」展開催…………… | 1 |
| 寄稿・日本の童謡展 童謡とは？（谷悦子）…………… | 2 |
| 雨雨情の童謡をめぐって（野口存彌）…………… | 3 |
| 〈展示会場から〉西條八十書「かなりや」…………… | 5 |
| 図録紹介…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉めぐりあえた幸せ(3) 破壊の後に（林京子）…………… | 6 |
| 〈神奈川とわたし〉よく知らない横浜（藤野千夜）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉島崎藤村「仏蘭西だより」の蔭に 粉山梓月あ て島崎藤村書簡…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表5…………… | 9 |

第91号 2006.1.15

| | |
|--|---|
| 〈新春随想〉年頭に当って（安西篤子）…………… | 1 |
| 「生誕一〇〇年 伊藤信吉展」を開催…………… | 1 |
| 〈寄稿〉伊藤さん、信吉さん（飯島耕一）…………… | 2 |
| 〈寄稿〉「碑」のDNA（中山日女子）…………… | 3 |
| 〈展示会場から〉生誕100年伊藤信吉展 スポット 横 浜転居…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉めぐりあえた幸せ(4) 小林美代子の書齋 （林京子）…………… | 6 |
| 〈神奈川とわたし〉海（蜂飼耳）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉吉屋信子と文士劇…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表6…………… | 9 |

第92号 2006.4.15

| | |
|---|---|
| 4月に吉屋信子展、6月に中野孝次展…………… | 1 |
| 新理事長に紀田順一郎常務理事…………… | 1 |
| 〈寄稿・吉屋信子展〉 華麗な風俗とりりしい少女（斎藤美奈子）…………… | 2 |
| 吉屋信子先生と「婦人公論」（三枝佐枝子）…………… | 3 |
| 〈展示会場から〉生誕110年吉屋信子展 作家の蕾から 「花物語」へ…………… | 5 |
| 図録紹介…………… | 5 |
| 〈寄稿・中野孝次展〉ちぎれ雲（菅野昭正）…………… | 6 |
| 〈連載随筆〉思いの中の人々（1）戦争の中で聞いた話 （岡野弘彦）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉小説家・中野孝次の誕生…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表7…………… | 9 |

第93号 2006.7.15

| | |
|--|---|
| 理事長就任にあたって（紀田順一郎）…………… | 1 |
| 中島敦旧蔵書など当館へ移管に…………… | 1 |
| 〈寄稿・藤田圭雄文庫目録刊行〉藤田先生のこと （佐藤さとる）…………… | 2 |
| 〈追悼・村上元三〉小次郎の眉涼しけれ（早乙女貢）…………… | 2 |
| 〈展示会場から〉中野孝次展 黒いノート…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉思いの中の人々（2）中上健次と法螺貝…………… | 5 |

| | |
|---|---|
| 〈岡野弘彦〉…………… | 6 |
| 〈神奈川とわたし〉八木重吉さんとぼくの叔父さん （八木幹夫）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉「智と力兄弟の話」もう一つの挿絵 ―藤田圭雄文庫資料から…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表 8 …………… | 9 |

第 94 号 2006.10.1

| | |
|---|---|
| 「俳句 その魅力展」を開催 …………… | 1 |
| 〈寄稿・俳句その魅力展〉 俳魔に魅入られる（坪内稔典）…………… | 2 |
| 昭和十七年の夏（荻原海一）…………… | 2 |
| 〈展覧会場から〉山頭火の手紙…………… | 5 |
| 図録紹介…………… | 5 |
| 〈寄稿・露伴、茂吉、寅彦と小林勇展〉小林勇さんの 思い出、二、三（羽仁進）…………… | 6 |
| 〈連載随筆〉思いの中の人々（3）室生家の庭（岡野弘彦）… | 7 |
| 〈閲覧室〉斎藤茂吉、箱根の別荘への書簡…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表 9 …………… | 9 |

第 95 号 2007.1.15

| | |
|--|---|
| 〈新春随想〉新しい日記帳（紀田順一郎）…………… | 1 |
| 春の特別展は「中原中也と富永太郎展」…………… | 1 |
| 〈寄稿〉初夢バリ寄席（荻野アンナ）…………… | 2 |
| 〈寄稿〉久生十蘭ルネッサンス（江口雄輔）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉常設展・文学の森へ 全集未収の太宰治 書簡…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉思いの中の人々（4）怒りの墓（岡野弘彦）… | 6 |
| 〈神奈川とわたし〉浜っ子のひとりごと（諸角せつ子）… | 7 |
| 〈「中島敦文庫」紹介〉一二つの「中島敦文庫」の合体と 旧蔵書が語るもの―（村田秀明）…………… | 8 |

第 96 号 2007.4.15

| | |
|--|---|
| 「中原中也と富永太郎展」を開催 …………… | 1 |
| 〈寄稿・中原中也と富永太郎展〉 太郎、中也、二人とも（出口裕弘）…………… | 2 |
| 富永太郎の栄光と不幸（粟津則雄）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉いのちの火花の記録…………… | 5 |
| 図録紹介…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉文人の俳句（1）百点句会（鷹羽狩行）… | 6 |
| 〈神奈川とわたし〉丘の上の禅師丸（三枝昂之）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉大岡昇平文庫から 富永太郎資料との関係で… | 8 |
| 神奈川近代文学年表 10 …………… | 9 |

第 97 号 2007.7.15

| | |
|---|---|
| 無削除本『月に吠える』など受贈…………… | 1 |
| 「佐藤さとのコロボックル物語展」を開催…………… | 1 |
| 〈寄稿・井上靖展〉井上靖先生からの贈りもの（大塚清吾）… | 2 |
| 〈寄稿・佐藤さとのコロボックル物語展〉「師匠」 （佐藤多佳子）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉佐藤さとのコロボックル物語展 小人 物語のはじまり…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉文人の俳句（2）東京やなぎ句会（鷹羽狩行）… | 6 |
| 〈神奈川とわたし〉海の記憶（禿慶子）…………… | 7 |
| 〈「櫻井書店資料」紹介〉寄贈した櫻井書店の所蔵資料に ついて（櫻井毅）…………… | 8 |
| 神奈川近代文学館オリジナルグッズ紹介…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表 11 …………… | 9 |

第 98 号 2007.10.15

| | |
|--|---|
| 「埴谷雄高『死霊』展」を開催、新発見の構想三十枚を 初公開…………… | 1 |
| 〈寄稿・埴谷雄高『死霊』展〉 埴谷さんのいた風景（柘植光彦）…………… | 2 |
| 『死霊』に生き、『死霊』に死す（籠島雅雄）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉一番目の読者 増永遥…………… | 5 |
| 図録紹介…………… | 5 |

| | |
|--|---|
| 〈連載随筆〉文人の俳句（3）瀬戸内寂聴と江國滋 （鷹羽狩行）…………… | 6 |
| 〈神奈川とわたし〉三崎の海の陰影（いしいしんじ）… | 7 |
| 〈閲覧室〉《漱石の日》の手紙…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表 12 …………… | 9 |

第 99 号 2008.1.15

| | |
|---|---|
| 〈新春随想〉過渡期の春（紀田順一郎）…………… | 1 |
| 春の特別展は「澁澤龍彦展」…………… | 1 |
| 〈寄稿・村井弦斎展〉ユートピアと『食道楽』（長山靖生）… | 2 |
| 〈寄稿・新収蔵資料展〉山本七平の永い永い「戦争」 （関川夏央）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉『食道楽』の人 村井弦斎 『食道楽』収 支報告調書…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉文人の俳句（4）北原亞以子（鷹羽狩行）… | 6 |
| 〈神奈川とわたし〉県北の町（丘修三）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉福田恆存二冊の「リチャード三世」台本 …… | 8 |
| 神奈川近代文学年表 13 …………… | 9 |

第 100 号 記念号 2008.4.15

| | |
|--|----|
| 「生誕 80 年 澁澤龍彦回顧展」を開催…………… | 1 |
| 〈寄稿・澁澤龍彦回顧展〉 もてなされて（高橋睦郎）…………… | 2 |
| 読書偏愛の作家 澁澤龍彦（富士川義之）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉幻の「玉蟲物語」…………… | 5 |
| 図録紹介…………… | 5 |
| 〈寄稿・文学館交流展〉「台湾文学館の魅力―その多彩な 世界」交流展紹介（林佩蓉）…………… | 6 |
| 〈連載随筆〉船で発つ（1）三島由紀夫と「アポロの杯」 （竹西寛子）…………… | 7 |
| 〈寄稿・機関紙 100 号記念〉なつかしい土地の記憶 （津野海太郎）…………… | 8 |
| 「神奈川近代文学館」1 ～ 100 号 著者索引…………… | 9 |
| 〈閲覧室〉研究者の心意気―『滑川道夫文庫目録』2 〈図書〉から―…………… | 13 |

第 101 号 2008.7.15

| | |
|---|---|
| かこさとし「だるまちゃんどてんぐちゃん」展を開催… | 1 |
| 〈寄稿・かこさとし「だるまちゃんどてんぐちゃん」展〉 だるまちゃんのエネルギー源―遊びはくらしからうま れた―（松居直）…………… | 2 |
| 〈寄稿・国木田独歩没後 100 年〉編集者としての国木田 独歩（黒岩比佐子）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉かこさとし「だるまちゃんどてんぐちゃ ん」展 セツルメント子ども会資料…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉船で発つ（2）中村光夫と「戦争まで」 （竹西寛子）…………… | 6 |
| 〈神奈川とわたし・横浜開港 150 周年記念（1）〉横濱元町 （近澤弘明）…………… | 7 |
| 〈『滑川道夫文庫目録』刊行に寄せて〉きみたちはテーマ を持っているか（亀村五郎）…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表 14 …………… | 9 |

第 102 号 2008.10.15

| | |
|---|---|
| 「堀田善衛展スタジオジブリが描く乱世。」を開催…………… | 1 |
| 〈寄稿・堀田善衛展〉 薄明からでよと云われて（神沢利子）…………… | 2 |
| 堀田善衛さんのこと（西川潤）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉詩人・堀田善衛と乱世文学者・堀辰雄… | 5 |
| 図録紹介…………… | 5 |
| 〈寄稿・神図協創立 80 周年記念展覧会〉神奈川県図書 館協会の八十年に寄せて（今まど子）…………… | 6 |
| 〈連載随筆〉船で発つ（3）中島敦と南洋からの手紙 （竹西寛子）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉黒岩重吾「日と影の王子聖徳太子」原稿 …… | 8 |
| 神奈川近代文学年表 15 …………… | 9 |

第 103 号 2009.1.15

| | |
|---|---|
| 〈新春随想〉年賀状に思う（紀田順一郎）…………… | 1 |
| 「子規から虚子へ」展を開催…………… | 1 |
| 〈寄稿・企画展「子規から虚子へ」〉「発句始」 （稲畑廣太郎）…………… | 2 |
| 〈寄稿・新収蔵資料展〉ハマっ子作家、平塚武二 （神戸光男）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉井泉水と虚子 井泉水筆「俳句分類集」… | 5 |
| 〈連載随筆〉船で発つ（4）中村光夫と「文学回想 憂し と見し世」（竹西寛子）…………… | 6 |
| 〈神奈川とわたし・横浜開港 150 周年記念（2）〉謎が いっぱい横浜 150 年（山崎洋子）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉有島武郎、相州平塚宛書簡…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表 16 横浜港から旅立った文学者たち ―明治編…………… | 9 |

第 104 号 2009.4.15

| | |
|--|---|
| 「森鷗外展―近代の扉をひらく」を開催…………… | 1 |
| 〈寄稿・森鷗外展〉 ランベック（森美奈子）…………… | 2 |
| 齋という名―命名典故―鷗外自筆未発表書簡― （山崎一穎）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉「北条霞亭」原稿 若き日の隠遁の思い… | 5 |
| 図録紹介…………… | 5 |
| 〈寄稿・中島敦展〉中島敦とシドモア（勝又浩）…………… | 6 |
| 〈連載随筆〉作家と風土（1）大佛次郎氏と横浜（安西篤子）… | 7 |
| 〈追悼・早乙女貢〉従来の歴史図式への異議申し立て ―独特の歴史観に基づく幕末維新小説（清原康正）… | 8 |
| 〈閲覧室〉磯田光一宛塚本邦雄書簡…………… | 9 |

第 105 号 2009.7.15

| | |
|--|---|
| 「茂田井武展 子どもたちへの贈りもの」を開催…………… | 1 |
| 〈寄稿・茂田井武展〉茂田井武の「絵本」（広松由希子）… | 2 |
| 〈寄稿・中里恒子生誕 100 年〉「百年の恋」中里恒子さん 生誕百年によせて（高橋一清）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉館蔵の茂田井作品…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉作家と風土（2）清冽な山国と義秀先生 （安西篤子）…………… | 6 |
| 〈神奈川とわたし・横浜開港 150 周年記念（3）〉横浜み なと町風情昔と今（柳原良平）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉中島敦文庫直筆資料画像データベース…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表 17 横浜港から旅立った文学者たち ―大正・昭和前期編…………… | 9 |

第 106 号 2009.10.15

| | |
|---|---|
| 開館二十五周年記念「大乱歩展」を開催…………… | 1 |
| 〈寄稿・大乱歩展〉 江戸川乱歩さんと神奈川県（佐野洋）…………… | 2 |
| 江戸川乱歩とエドガー・アラン・ポー（鹿島茂）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉「二銭銅貨」関連資料…………… | 5 |
| 図録紹介…………… | 5 |
| 〈寄稿・長谷川時雨展〉時雨・私・「女人芸術」 （尾形明子）…………… | 6 |
| 〈連載随筆〉作家と風土（3）山の手の子大岡昇平氏 （安西篤子）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉中島敦とベートーヴェン…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表 18 …………… | 9 |

第 107 号 2010.1.15

| | |
|---|---|
| 〈新春随想〉日の出（紀田順一郎）…………… | 1 |
| 「長谷川時雨展」開催中…………… | 1 |
| 〈寄稿・新収蔵資料展〉鎌倉の家（村松友視）…………… | 2 |
| 〈寄稿・《中村光夫文庫から》二葉亭四迷展〉 二葉亭と中村（木庭久美子）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉 二葉亭四迷「おひたち」（ゴンチャロフ作）訳稿…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉作家と風土（4）浅草っ子万太郎（安西篤子）… | 6 |

| | |
|-------------------------------------|---|
| 〈神奈川とわたし〉逗子の海。そのきらめき。 （野中稜）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉添田知道 戦中の日記…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表 19 …………… | 9 |

第 108 号 2010.4.15

| | |
|---|---|
| 「城山三郎展―昭和の旅人―」を開催…………… | 1 |
| 〈寄稿・城山三郎展〉 闘う作家の真骨頂（高杉良）…………… | 2 |
| 無私で無口な父（杉浦有一）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉城山三郎の「血闘日誌」…………… | 5 |
| 図録紹介…………… | 5 |
| 〈寄稿・「開高健の世界」展〉開高の声（藤沢周）…………… | 6 |
| 〈連載随筆〉異端の僥倖（1）ノミとマントと草田男先生 （加古里子）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉開高健旧蔵の井伏鱒二「鮎鯛釣技法」…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表 20 …………… | 9 |

第 109 号 2010.7.15

| | |
|---|---|
| 「長崎源之助展―『つりばしわたれ』『ひろしまのエノキ』 『汽笛』を開催…………… | 1 |
| 〈寄稿・長崎源之助展〉長崎文房具店のころ（佐藤さとる）… | 2 |
| 〈寄稿・島木健作書簡〉「硬文学」としての島木文学 （新保祐司）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉汽笛とエノキと子どもたち…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉異端の僥倖（2）ガンちゃん、リンゴ、夜の 小人（加古里子）…………… | 6 |
| 〈神奈川とわたし〉平塚に住んで（火坂雅志）…………… | 7 |
| 〈閲覧室〉雑誌「黒戦」二巻七号…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表 21 …………… | 9 |

第 110 号 2010.10.15

| | |
|--|---|
| 秋の特別展「小泉八雲展」を開催…………… | 1 |
| 〈寄稿・小泉八雲展〉 『赤毛のアン』と『KWAIDAN』（松本侑子）…………… | 2 |
| ハーンの音と耳のフォークローア（池田雅之）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉館蔵小泉八雲関係資料…………… | 5 |
| 図録紹介…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉異端の僥倖（3）巖頭の女、プー吉、セツル メント（加古里子）…………… | 6 |
| 〈神奈川とわたし〉鎌倉で歌っていた……（岩田宏）…… | 7 |
| 〈閲覧室〉『ノンちゃん雲に乗る』誕生のころ ―石井桃子書簡と藤田圭雄日記…………… | 8 |
| 神奈川近代文学年表 22 …………… | 9 |

第 111 号 2011.1.15

| | |
|--|---|
| 〈新春随想〉歳月の塵（紀田順一郎）…………… | 1 |
| 新春は中山義秀展を開催…………… | 1 |
| 〈寄稿・中山義秀展〉奥深い義秀文学（安西篤子）…………… | 2 |
| 〈寄稿・「層雲」100 周年記念展〉百周年に思う （小山貴子）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉中山義秀の日記「断腸録」…………… | 5 |
| 〈連載随筆〉異端の僥倖（4）紙芝居、児童行動論、絵本 の余光（加古里子）…………… | 6 |
| 〈神奈川とわたし〉小田原っ子（柳月美智子）…………… | 7 |
| 〈寄稿・追悼 紅野敏郎〉文学館と共に歩いた研究者 （鳥居邦朗）…………… | 8 |
| 〈閲覧室〉同人誌「貧しき者」と高村光太郎書簡…………… | 9 |

第 112 号 2011.4.15

| | |
|---------------------------------------|---|
| 「遠藤周作展―21 世紀の生命のために―」開催…………… | 1 |
| 〈寄稿・遠藤周作展〉 原民喜・遠藤周作との縁（大久保房男）…………… | 2 |
| 二十世紀への遺言『袈裟の河』（山根道公）…………… | 3 |
| 〈展覧会場から〉棄教神父の記録…………… | 5 |
| 図録紹介…………… | 5 |
| 〈寄稿・「漱石と文人たちの書画」展〉…………… | |

和漢朗詠集「春興」のことなど（山田幸男）…………… 6
〈連載随筆〉泉津醜女への旅（1）（山田宗睦）…………… 6
未完成作品「八十七本」とわたし（大河原英與）…………… 8
神奈川近代文学年表 23 ……………… 9

第 113 号 2011.7.15

「安野光雅展—アンデルセンと旅して」を開催…………… 1
〈寄稿・安野光雅展〉
「安野光雅展—アンデルセンと旅して」に寄せて
（大矢頼音）…………… 2
アンデルセンと安野光雅さん（末盛千枝子）…………… 3
〈展覧会場から〉文語文のすゝめ…………… 5
図録紹介…………… 5
〈連載随筆〉泉津醜女への旅（2）（山田宗睦）…………… 6
〈神奈川とわたし〉江田というユートピア
（星野智幸）…………… 7
〈閲覧室〉木下圭太郎〈パンの会〉関連ノート…………… 8
神奈川近代文学年表 24 ……………… 9

第 114 号 2011.10.1

「没後 60 年記念展 いま輝く林芙美子」…………… 1
〈寄稿・いま輝く林芙美子〉…………… 2
旅人としての林芙美子（角田光代）…………… 2
ノワールが描けたひと—林芙美子の文学の魅力
（金井景子）…………… 3
〈展覧会場から〉初公開資料林唯一日記…………… 5
図録紹介…………… 5
〈連載随筆〉泉津醜女への旅（3）（山田宗睦）…………… 6
〈神奈川とわたし〉五十年住んだ街（安藤元雄）…………… 7
〈閲覧室〉金子光晴最後の同人誌「いささか」周辺…………… 8
神奈川近代文学年表 25 ……………… 9

第 115 号 2012.1.15

〈新春随想〉風の変化（紀田順一郎）…………… 1
「作家と万年筆展」を開催、次回展示は「中蘭英助展」… 1
〈寄稿・作家と万年筆展〉万年筆だから書ける（高橋一清）… 2
〈寄稿・中蘭英助展〉中蘭英助と「燕京文学」（飯塚容）… 3
〈展覧会場から〉「歴史に空白あるべからず」
—中蘭英助における「記録」…………… 5
〈連載随筆〉泉津醜女への旅（4）（山田宗睦）…………… 6
〈神奈川とわたし〉「二番目に高い山」（山本文緒）…………… 7
〈所蔵資料紹介〉〈武井武雄刊本作品〉の完全揃い
（上笙一郎）…………… 8
神奈川近代文学年表 26 ……………… 9

第 116 号 2012.4.15

「茂吉再生—生誕 130 年斎藤茂吉展—」開催…………… 1
〈寄稿・「茂吉再生」展〉
『つきかげ』の茂吉（小池光）…………… 2
斎藤茂吉の箱根の歌（結城千賀子）…………… 3
〈展覧会場から〉戦争と茂吉…………… 5
図録紹介…………… 5
〈寄稿・「中野重治の手紙」展〉わたしあて中野さんの
手紙（松下裕）…………… 6
〈連載随筆〉四人の巨人（1）江戸川乱歩のハガキ
（斎藤栄）…………… 7
〈寄稿・追悼 岡松和夫〉岡松さん、追憶（佐江衆一）… 8
〈所蔵資料紹介 1〉川端康成書簡二通…………… 9

第 117 号 2012.7.15

理事長就任にあたって まだ宵の口（辻原登）…………… 1
寺村輝夫「ぼくは王さま」展…………… 1
〈寄稿・寺村輝夫「ぼくは王さま」展〉
「おしゃべりなたまごやき」から始まって……
（今江祥智）…………… 2
〈寄稿〉福田恆存生誕 100 年（福田逸）…………… 3
〈展覧会場から〉寺村輝夫の自筆絵本…………… 5

図録紹介…………… 5
〈連載随筆〉四人の巨人（2）松本清張と未完の対局
（斎藤栄）…………… 6
〈神奈川とわたし〉江ノ電小景（水無田気流）…………… 7
〈所蔵資料紹介 2〉晩年の萩原朔太郎書簡二通…………… 8

第 118 号 2012.10.15

「生誕 140 年記念島崎藤村展」を開催…………… 1
〈寄稿・島崎藤村展〉
藤村とヘボン（太田治子）…………… 2
島崎藤村の人と文学—“心を起さうと思はゞ先づ身を
起せ”（鈴木昭一）…………… 3
〈展覧会場から〉神津猛関係藤村資料…………… 5
〈連載随筆〉四人の巨人（3）大山名人とのゴルフ対決
（斎藤栄）…………… 6
〈神奈川とわたし〉FENCEの向こうのアメリカ（伊東潤）… 7
〈所蔵資料紹介 3〉晩年の萩原朔太郎書簡その 2…………… 8

第 119 号 2013.1.15

〈新春随想〉今年のたのしみ（辻原登）…………… 1
「添田啞蟬坊・知道展」開催…………… 1
春の特別展は井上ひさし…………… 1
〈寄稿・清岡卓行資料〉原稿の文字（岩阪恵子）…………… 2
〈寄稿・添田啞蟬坊・知道展〉「添田啞蟬坊・知道展」に
寄せて（木村聖哉）…………… 3
〈展覧会場から〉東京青年親交会の演歌本…………… 5
〈連載随筆〉四人の巨人（4）モデルとしての化主狛下
（斎藤栄）…………… 6
〈神奈川とわたし〉鎌倉の四季（星野椿）…………… 7
〈所蔵資料紹介 4〉尾崎一雄宛 檀一雄書簡…………… 8

第 120 号 2013.4.15

「井上ひさし展 — 21 世紀の君たちに—」開催…………… 1
『中原中也の手紙』展開催…………… 1
〈寄稿・井上ひさし展〉
愉快な「なかま」に加わる（高橋敏夫）…………… 2
吉里吉里独立す（今村忠純）…………… 3
〈展覧会場から〉吉里吉里国の都市計画…………… 5
図録紹介…………… 5
〈寄稿・『中原中也の手紙』展〉『中原中也の手紙』展—
安原喜弘へ（中原豊）…………… 6
〈連載随筆〉このごろ会った人（1）或る `師弟、関係
（三木卓）…………… 7
〈所蔵資料紹介 5〉広津和郎宛 川端康成書簡…………… 8

第 121 号 2013.7.15

「賢治＋司修 注文の多い展覧会」を開催…………… 1
『中原中也の手紙』展開催中…………… 1
秋の特別展は泉鏡花展…………… 1
「夏目漱石デジタル文学館」完成、公開…………… 1
〈寄稿・賢治＋司修 注文の多い展覧会〉湖（鴻池朋子）… 2
〈寄稿・尾崎一雄没後 30 年〉尾崎一雄と同人雑誌
（永田龍太郎）…………… 3
〈展覧会場から〉司修の旅のスケッチ帖…………… 5
図録紹介…………… 5
〈連載随筆〉このごろ会った人（2）佐々木千世子のこと
（三木卓）…………… 6
〈神奈川とわたし〉川崎の町の匂い（小嵐九八郎）…………… 7
〈所蔵資料紹介 6〉鈴木三重吉宛 小宮豊隆書簡（1）… 8

第 122 号 2013.10.15

「生誕 140 年記念 泉鏡花展」を開催…………… 1
「新収蔵資料展」と「大佛次郎没後 40 年記念特設コー
ナー」…………… 1
〈寄稿・泉鏡花展〉
永遠の逃げ水（村松友視）…………… 2
泉鏡花の処女作「冠弥左衛門」と真土騒動（秋山稔）… 3

〈展覧会場から〉「婦系図」関係資料…………… 5
図録紹介…………… 5
〈連載随筆〉このごろ会った人（3）書評紙時代のこと
（三木卓）…………… 6
〈神奈川とわたし〉町の本屋さん（復本一郎）…………… 7
〈所蔵資料紹介 7〉鈴木三重吉宛 小宮豊隆書簡（2）… 8

第 123 号 2014.1.15

〈新春随想〉わが聖地・熊野（辻原登）…………… 1
「黒岩重吾展」を開催…………… 1
〈寄稿・黒岩重吾展〉希望の人（阿部牧郎）…………… 2
〈寄稿〉山崎方代 生誕百年（大下一真）…………… 3
〈展覧会場から〉「闇の左大臣 石上朝臣麻呂」原稿…………… 5
〈連載随筆〉このごろ会った人（4）豪雨の夕方の思い出
（三木卓）…………… 6
〈神奈川とわたし〉我が故郷は団地なりき（佐川光晴）… 7
〈所蔵資料紹介 8〉岡本かの子書簡二通…………… 8

年報

神奈川近代文学館年報
1986- 26cm

神奈川近代文学館年報 昭和 60 年版
〔神奈川県立神奈川近代文学館〕
1986 ※奥付無し

神奈川近代文学館年報 昭和 61 年版
〔神奈川県立神奈川近代文学館〕
1987 ※奥付無し

神奈川近代文学館年報 昭和 62 年版
〔神奈川県立神奈川近代文学館〕
1988 ※奥付無し

神奈川近代文学館年報 昭和 63 年版
〔神奈川県立神奈川近代
文学館〕1989 ※奥付無し

神奈川近代文学館年報 平成元年度
県民部 神奈川近代文学館
1990 ※奥付無し

神奈川近代文学館年報 平成 2 年度
神奈川県立神奈川近代文学館
1991.4

神奈川近代文学館年報 平成 3 年度
神奈川県立神奈川近代文学館
1992.4

神奈川近代文学館年報 平成 4 年度
神奈川県立神奈川近代文学館
1993.4

神奈川近代文学館年報 平成 5 年度
財団法人神奈川文学振興会〔編〕
神奈川県立神奈川近代文学館
1994.4

神奈川近代文学館年報 1994 年度（平成 6）
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
1995.6.1
はじめに（中野孝次）…………… 1
〈巻頭論文〉巻頭論文「尾崎一雄文庫」のなかから「文芸
城」二冊の重さ（紅野敏郎）…………… 5

〈巻頭論文〉西脇順三郎の詩と禅（江森國友）…………… 9
神奈川近代文学館年報 1995 年度（平成 7）
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
1996.6.1
「横光利一原稿五編」追記（保昌正夫）…………… 6
泉鏡花の文学について（川村二郎）…………… 10

神奈川近代文学館年報 1996 年度（平成 8）
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
1997.6.20
「死霊」第四章推敲の跡（鳥居邦朗）…………… 6
第二の身体—遺稿・遺品をめぐるって（吉田潔生）…… 10

神奈川近代文学館年報 1997 年（平成 9 年）度
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
1998.6.20
立原正秋展の後に（岡松和夫）…………… 6
〈滑川道夫文庫〉を見る（上笙一郎）…………… 10

神奈川近代文学館年報 1998 年（平成 10 年）度
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
1999.6.18
広津文庫資料について（坂本育雄）…………… 6
谷崎と横浜—谷崎潤一郎展余聞—（千葉俊二）…………… 11

神奈川近代文学館年報 1999 年（平成 11 年）度
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2000.7.31
開高健の「戦い」（川村湊）…………… 6
三重吉の光—「鈴木三重吉・赤い鳥文庫」閲覧
（宮川健郎）…………… 10

神奈川近代文学館年報 2000 年（平成 12 年）度
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2001.6.30
漱石書画考—夏目家より寄贈された漱石の遺品に触れて
（石崎等）…………… 6
原爆文学について（鹿野政直）…………… 10

神奈川近代文学館年報 2001 年（平成 13 年）度
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2002.6.30
「文学」と「本」のあいだ—「二〇世紀の日本児童文学」
を展示するにあたって（佐藤宗子）…………… 4
戦後研究の一級資料—野間宏文庫の意義（紅野謙介）… 8

神奈川近代文学館年報 2002 年（平成 14 年）度
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2003.6.30
荷風書簡百十五通（うち新発見三十三通）の充実—
翔山梓月資料のうちから（竹盛天雄）…………… 4
「吉野秀雄展」を顧みる（島田修二）…………… 9

神奈川近代文学館年報 2003 年（平成 15 年）度
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館 財団法人神奈川文学振興会
2004.6.30
近代俳句のキーパーソン井泉水の日記（村上護）…………… 4

井上靖展の意図と構成（曾根博義）…………… 9

神奈川近代文学館年報 2004 年（平成 16 年）度
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2005.7.10
 開館 20 周年記念リレートーク「文学・おもしろさへの誘い」講演記録
 思い出の作家たち（安西篤子）…………… 4
 ペンネームの終焉（紀田順一郎）…………… 10
 作歌の現場（尾崎左永子）…………… 18
 白秋 三崎の恋（三木卓）…………… 24

神奈川近代文学館年報 2005 年（平成 17 年）度
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2006.6.30
 堀田善衛文庫の愉しみ（岸宣夫）…………… 4
 文学展の編集と課題「生誕 80 年・没後 35 年記念展三島由紀夫ドラマティックヒストリー」の場合（佐藤秀明）… 9

神奈川近代文学館年報 2006 年（平成 18 年）度
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2007.7.18
 作家・中野孝次の生き方―担当編集者二十八年の思い出（高橋一清）…………… 4

神奈川近代文学館年報 2007 年（平成 19 年）度
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2008.7.15
 「在日朝鮮人文学」は、いつ生まれたのか?―「釜達寿文庫」によせて（川村湊）…………… 4
 二十一世紀に生きる『死霊』（立石伯）…………… 9

神奈川近代文学館年報 2008 年（平成 20 年）度
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2009.7.26
 堀田善衛の上海行き―国際文化振興会との関係（紅野謙介）…………… 4

神奈川近代文学館年報 2009 年（平成 21 年）度
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
2010.8.5
 〈森鷗外展の鷗外〉前史をめぐるエスキス―逍遙・二葉亭・鷗外における〈想実〉の問題（小泉浩一郎）…………… 4
 DVD 版「中島敦文庫直筆資料画像データベース」概要… 10

神奈川近代文学館年報 2010 年（平成 22 年）度
公益財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会
2011.7.30
 神奈川近代文学館「小泉八雲展」の意味（小泉凡）………… 4
 中川一政の文芸（山田幸男）…………… 9

神奈川近代文学館年報 2011 年（平成 23 年）度
公益財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会
2012.7.31
 遠藤周作の問いかけたもの（富岡幸一郎）…………… 4
 稀有の詩人金子光晴と至近距離にいた中島可一郎の特別資料（平林敏彦）…………… 9

神奈川近代文学館年報 2012 年（平成 24 年）度
公益財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会
2013.7.25
 茂吉という問い―2012 年度特別展「茂吉再生―生誕一三〇年 斎藤茂吉展」について（三枝昂之）…… 4
 『那須辰造文庫目録』の完成―神奈川近代文学館所蔵文庫目録 18―（高原二郎）…………… 11

記念誌（開館）

神奈川近代文学館建設の趣意
（財）神奈川文学振興会
1982.6.23 32p 21cm

神奈川近代文学館建設の趣意・設立発起人…………… 2
 感動と責任（長洲一二）…………… 4
 超一級の文学殿堂に（小田切進）…………… 6
 第一歩（尾崎一雄）…………… 8
 役員の一入として（井上靖）…………… 9
 地方への興味（中村光夫）…………… 9
 お祝い申し上げる（里見弴）…………… 10
 西と東（永井龍男）…………… 11
 神奈川近代文学館へ寄せる（稲垣達郎）…………… 12
 県立近代文学館と私（近藤東）…………… 12
 新しい文学館のために（瀬沼茂樹）…………… 13
 児童文学への期待（滑川道夫）…………… 14
 詩人たちの面影（伊藤信吉）…………… 15
 近代文学館創設を歡ぶ（山本健吉）…………… 16
 長谷川伸と横浜（村上元三）…………… 17
 感想と要望（関英雄）…………… 18
 私と郷土文学（小澤彰）…………… 19
 一点の資料（城山三郎）…………… 20
 楽しめる文学館（馬場あき子）…………… 21
 文学と風土（尾崎秀樹）…………… 22
 県立近代文学館への期待（江藤淳）…………… 22
 神奈川近代文学館の建設を喜ぶⅠ（細郷道一）………… 24
 神奈川近代文学館の建設を喜ぶⅡ（桶本正夫）………… 24
 神奈川近代文学館の建設を喜ぶⅢ（菅井栄一郎）…… 25
 神奈川近代文学館のしごと…………… 26
 理事・監事・顧問・評議員・事務局員名簿…………… 27
 神奈川県ゆかりの文学者Ⅰ…………… 28
 図版神奈川近代文学館…………… 30

記念誌（周年）

1984・4～1994・3 神奈川近代文学館 10 年史
財団法人神奈川文学振興会編
神奈川県立神奈川近代文学館、財団法人神奈川文学振興会
1994.10.1 62,45p 26cm
750 円

神奈川近代文学館十周年にあたって（長洲一二）………… 2
 文学館これまでとこれから（中野孝次）…………… 3
 一雄が残していった資料と心（尾崎松枝）…………… 4
 中村光夫と中村文庫（木庭久美子）…………… 5
 資料の重要性（紅野敏郎）…………… 6
 小田原の作家たち（保昌正夫）…………… 7
 神奈川の文学と文学館（内田四方蔵）…………… 8
 仕事二つ（小山文雄）…………… 9
 これからの文学館（山田宗睦）…………… 10
 神奈川近代文学館のあゆみ 1979・8～1994・3…………… 15

資料編
 神奈川文学振興会設立の趣意…………… 3
 文庫紹介…………… 4
 主な寄贈資料…………… 6
 展覧会別入館者の状況…………… 8
 文芸講演会・文学講座…………… 10
 映画会・友の会活動…………… 14
 刊行物一覧…………… 15
 製作ビデオ一覧…………… 16
 機関紙「神奈川近代文学館」総目次…………… 17
 歴代役員等名簿…………… 29
 役員等名簿…………… 34
 （財）神奈川文学振興会の組織・職員名簿…………… 36
 神奈川県立神奈川近代文学館条例…………… 37
 施設概要…………… 41
 神奈川近代文学館略年表…………… 43

『神奈川文学振興会』編集協力・財団法人神奈川文学振興会

展覧会リーフレット

発行は全て県立神奈川近代文学館ならびに、財団法人神奈川文学振興会（公財神奈川文学振興会）

『神奈川文学振興会』編集協力・財団法人神奈川文学振興会

没後 50 年 牧野信一展
1986.2.27 8p B6 判
 光芒をはなつ牧野信一（小田切進）…………… 2
 主な出品資料／協力者・出品協力者…………… 8

収蔵コレクション展 1 神西清文庫
1998.3.7 8p B6 判
 はじめに…………… 2
 神西清略年譜…………… 7
 主な出品資料…………… 8

収蔵コレクション展 2 近藤東文庫
1998.11.14 8p B6 判
 はじめに…………… 2
 神西清略年譜…………… 7
 主な出品資料…………… 8

収蔵コレクション展 3 尾崎一雄文庫
2000.2.19 8p B6 判
 はじめに…………… 2
 尾崎一雄略年譜…………… 7
 主な出品資料…………… 8

収蔵コレクション展 4
木下奎太郎文庫 「百花譜」の世界へ
2000.11.18 8p B6 判
 はじめに…………… 2
 木下奎太郎略年譜…………… 7
 主な出品資料…………… 8

収蔵コレクション展 5 藤森成吉文庫
2002.3.9 8p B6 判
 はじめに…………… 2
 藤森成吉略年譜…………… 7
 主な出品資料…………… 8

収蔵コレクション展 6 中島敦文庫
2002.10.12 8p B6 判
 はじめに…………… 2
 中島敦略年譜…………… 7
 主な出品資料…………… 8

収蔵コレクション展 7 高木健夫文庫
2003.11.22 8p B6 判
 はじめに…………… 2
 高木健夫略年譜…………… 7
 主な出品資料…………… 8

神奈川の文学 鎌倉女学校と作家たち
学校法人鎌倉女学院編 編集協力・財団法人神奈川文学振興会
2004.8.7 8p B6 判
 はじめに…………… 2
 鎌倉女学校・鎌倉女学院 学校史年表…………… 7
 主な出品資料…………… 8

佐藤さとる コロボックル物語展 だれも知らない小さな国
2007.8.4 8p A5 判
 開催にあたって…………… 2
 佐藤さとる略年譜…………… 7
 佐藤さとる横須賀・安針塚地図／主な出品資料…………… 8

収蔵コレクション展 8『食道楽』の人 村井弦斎
2008.1.19 8p A5 判
 開催にあたって…………… 2
 略年譜…………… 7
 主な出品資料…………… 8

かこさとし「だるまちゃんとてんぐちゃん」展
2008.8.9 8p A5 判
表紙・裏表紙絵・かこさとし（書き下ろし）
 開催にあたって…………… 2
 かこさとし略年譜…………… 7
 主な出品資料…………… 8

茂田井武展 子どもたちへの贈りもの
2009.8.8 8p A5 判
 開催にあたって…………… 2
 茂田井武略年譜／主な出品資料…………… 8

生誕 130 年 長谷川時雨展
2009.11.21 8p A5 判
 開催にあたって…………… 2

収蔵コレクション展 9 没後 100 年 二葉亭四迷展 中村光夫文庫から
2010.3.6 8p A5 判
 開催にあたって…………… 2
 主な出品資料…………… 8

長崎源之助展―『つりばしわたれ』『ひろしまのエノキ』『汽笛』
2010.8.7 8p A5 判
 開催にあたって…………… 2
 長崎源之助略年譜…………… 7
 主な出品資料…………… 8

収蔵コレクション展 10 中山義秀展
2011.1.15 8p A5 判
 開催にあたって…………… 2
 中山義秀略年譜／主な出品資料…………… 8

「漱石と文人たちの書画」展―夏目漱石、高浜虚子、武者小路実篤、中川一政らの館蔵コレクションによる―
2011.6.11 8p A5 判
 開催にあたって…………… 2

作家と万年筆展
2012.1.14 8p A5 判
 開催にあたって…………… 2

刊行物等

収蔵コレクション展 11 没後 10 年 中藺英助展—〈記録者〉の文学—

2012.3.3 8p A5 判

開催にあたって…………… 2

中藺英助略年譜…………… 8

中野重治の手紙—『愛しき者へ』展

2012.6.16 8p A5 判

開催にあたって…………… 2

中野重治略年譜…………… 7

企画展・収蔵コレクション展 12 添田啞蟬坊・知道展
明治・大正のストリート・シンガー

2013.3.2 8p A5 判

開催にあたって…………… 2

添田啞蟬坊略年譜 添田知道略年譜…………… 7

企画展・収蔵コレクション展 13 生誕 90 年 黒岩重吾展
2014.2.1 8p A5 判

開催にあたって…………… 2

栗岩重吾略年譜…………… 7

主要著書年譜…………… 8